

船橋市障害福祉施策に関する  
意識調査報告書  
概要版

平成 30 年 1 月  
船 橋 市



# 目 次

<b>1</b>	<b>調査の目的と方法</b>	<b>1</b>
<b>2</b>	<b>アンケート調査結果（全体）</b>	<b>3</b>
<b>3</b>	<b>アンケート調査結果（種類別）</b>	<b>26</b>
1	身体障害者を対象とした調査結果	26
2	知的障害者を対象とした調査結果	30
3	精神障害者を対象とした調査結果	34
4	施設入所者を対象とした調査結果	36
5	グループホーム入居者を対象とした調査結果	39
6	一般市民を対象とした調査結果	42
<b>4</b>	<b>人口推計</b>	<b>44</b>
1	推計の基礎データ	44
2	推計結果	45



# 1 調査の目的と方法

## (1) 調査の目的

この調査は、障害のある方の生活実態などを把握し、今後の障害福祉施策の企画・推進の基礎的な資料を作成するために実施しました。

## (2) 調査方法

調査票の記入は、原則として本人が行うものとししました。ただし、本人による記入が困難な場合には、家族や支援者が本人の意向を確かめて記入するものとししました。

調査の種類	調査の対象	調査方法
1 身体障害者調査	身体障害者手帳を所持している市民から抽出	郵送配布、無記名による郵送回収
2 知的障害者調査	療育手帳を所持している市民から抽出	
3 精神障害者調査	市内の精神科医療機関に通院している市民に、医療機関を通じて配布	施設・医療機関にて配布、無記名による郵送回収
4 施設入所者調査	市内の障害者入所施設、精神科医療機関に入所・入院している市民に、施設・医療機関を通じて配布	
5 グループホーム入居者調査	市内のグループホームに入居している市民に、施設を通じて配布	施設にて配布、無記名による郵送回収
6 一般市民調査	住民基本台帳から、20歳以上の市民を抽出	郵送配布、無記名による郵送回収

## (3) 調査期間

平成29年8月10日（木）～平成29年9月10日（日）

## (4) 調査主体

船橋市

## (5) 集計・分析

株式会社 社会構想研究所

## (6) 調査票の配布・回収状況

	配布数	回収数	無効票	有効回収数	有効回収率
1 身体障害者調査	2,500	1,445	0	1,445	57.8%
2 知的障害者調査	400	199	2	197	49.3%
3 精神障害者調査	400	145	0	145	36.3%
4 施設入所者調査	150	63	0	63	42.0%
5 グループホーム入居者調査	150	93	1	92	61.3%
6 一般市民調査	400	225	0	225	56.3%
合計	4,000	2,170	3	2,167	54.2%

## (7) 利用にあたって

- ①調査結果の数値は、原則として回答率（％）で表記しています。
- ②表では、特別の表記がない限り、上段が実数、下段が割合（％）を表示しています。表中に「－」と表示してあるものは、回答者がいなかった場合です。
- ③アンケート調査を集計した数値は小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しています。そのため、質問に対する回答の選択肢が1つだけの場合、回答率（％）を全て合計しても、100.0%にならないことがあります。
- ④回答者数を分母として割合（％）を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると100%を超えることがあります。
- ⑤アンケート調査票の選択肢の文章が長い場合、図表中では選択肢を要約して表記していることがあります。
- ⑥回答者数が極端に少ないものについては、分析対象から外している場合があります。ただし、その場合でも調査結果には参考値として掲載しています。
- ⑦障害者の表記については、18歳未満の児童も含んでいます。

## 2 アンケート調査結果(全体)

※ 表中で網掛けをしている部分は、クロス集計の結果の中で特徴のあった部分として、説明文で取り上げている項目を指します。

### 1 基本属性

#### (1) 年齢

あなたは、何歳ですか。平成 29 年 1 月 1 日現在の満年齢でお答えください。

身体障害者調査では、「70～79 歳」が 33.0%で最も多く、次いで「80 歳以上」が 28.4%となっています。

知的障害者調査では、「20～29 歳」が 22.8%で最も多く、次いで「10～19 歳」が 20.8%となっています。

精神障害者調査では、「40～49 歳」が 29.0%、次いで「50～59 歳」が 22.8%となっています。

施設入所者調査では、「40～49 歳」が 42.9%、次いで「30～39 歳」、「60～69 歳」が 14.3%となっています。

グループホーム入居者調査では、「40～49 歳」が 26.1%、次いで「50～59 歳」が 21.7%となっています。

平均年齢は、身体障害者調査は 69.6 歳、知的障害者調査は 29.1 歳、精神障害者調査、施設入所者調査、グループホーム入居者調査では 40 歳台であり、障害の種別によって大きく異なります。

図表 1 年齢

	全体	0 5 9 歳	1 0 5 1 9 歳	2 0 5 2 9 歳	3 0 5 3 9 歳	4 0 5 4 9 歳	5 0 5 5 9 歳	6 0 5 6 9 歳	7 0 5 7 9 歳	8 0 歳 以上	無 回 答	平均 年 齢 ( 歳 )
全体	2,167 100.0	50 2.3	60 2.8	107 4.9	142 6.6	231 10.7	221 10.2	323 14.9	532 24.6	428 19.8	73 3.4	61.2
身体障害者	1,445 100.0	26 1.8	15 1.0	8 0.6	42 2.9	75 5.2	110 7.6	241 16.7	477 33.0	410 28.4	41 2.8	69.6
知的障害者	197 100.0	24 12.2	41 20.8	45 22.8	25 12.7	28 14.2	17 8.6	8 4.1	1 0.5	1 0.5	7 3.6	29.1
精神障害者	145 100.0	-	2 1.4	8 5.5	23 15.9	42 29.0	33 22.8	14 9.7	7 4.8	5 3.4	11 7.6	48.7
施設入所者	63 100.0	-	-	1 1.6	9 14.3	27 42.9	8 12.7	9 14.3	6 9.5	-	3 4.8	49.8
グループホーム入居者	92 100.0	-	2 2.2	18 19.6	16 17.4	24 26.1	20 21.7	6 6.5	4 4.3	-	2 2.2	42.9
一般市民	225 100.0	-	-	27 12.0	27 12.0	35 15.6	33 14.7	45 20.0	37 16.4	12 5.3	9 4.0	53.9

## (2) 同居家族

あなたが一緒に暮らしている家族は、どなたですか。(あてはまるものすべてに○)

身体障害者調査では、「夫または妻（事実婚を含む）」が 56.7%で最も多く、「子」が 31.9%、「自分一人」が 19.7%となっています。

知的障害者調査では、「父母（夫または妻の父母を含む）」が 85.3%で最も多く、「兄弟姉妹」が 52.8%となっています。

精神障害者調査では、「父母（夫または妻の父母を含む）」が 37.9%で最も多く、次いで「自分一人」が 31.0%、「夫または妻（事実婚を含む）」が 22.1%となっています。

図表 2 同居家族

	全体	夫または妻 (事実婚を含む)	父母(夫または妻 の父母を含む)	子	孫	兄弟姉妹	その他の親族 (おじ、おば、 いとこなど)	友人や仲間など との共同生活	自分一人	無回答
全体	1,787 100.0	864 48.3	359 20.1	491 27.5	82 4.6	183 10.2	19 1.1	14 0.8	333 18.6	48 2.7
身体障害者	1,445 100.0	820 56.7	136 9.4	461 31.9	79 5.5	58 4.0	8 0.6	11 0.8	284 19.7	37 2.6
知的障害者	197 100.0	12 6.1	168 85.3	6 3.0	-	104 52.8	6 3.0	1 0.5	4 2.0	4 2.0
精神障害者	145 100.0	32 22.1	55 37.9	24 16.6	3 2.1	21 14.5	5 3.4	2 1.4	45 31.0	7 4.8



## 2 日常生活について

### (1) 日常生活で困っていること

あなたは、ふだんの生活で気になったり、困ったりしていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

身体障害者調査、知的障害者調査では「病気やけがのこと」が最も多く、精神障害者調査では「家計や暮らしの経済的なこと」となっています。

「友人・知人との付き合い」という回答は、知的障害者調査(22.3%)、精神障害者調査(24.1%)では2番目に多く、身体障害者調査では「買い物」(19.0%)が2番目に多くなっています。

図表 3 日常生活で困っていること

	全体	買い物	ごみ出し	食事の準備 (調理など)	部屋の掃除	洗濯	防犯	家計や暮らしの 経済的なこと
全体	1,787 100.0	323 18.1	174 9.7	225 12.6	260 14.5	128 7.2	123 6.9	305 17.1
身体障害者	1,445 100.0	274 19.0	150 10.4	167 11.6	197 13.6	97 6.7	83 5.7	222 15.4
知的障害者	197 100.0	26 13.2	13 6.6	34 17.3	32 16.2	20 10.2	23 11.7	36 18.3
精神障害者	145 100.0	23 15.9	11 7.6	24 16.6	31 21.4	11 7.6	17 11.7	47 32.4
	家族や親戚との 関係	近所付き合い	友人・知人との 付き合い	普段の話し相手	病気やけがのこと	その他	無回答	
全体	127 7.1	122 6.8	177 9.9	163 9.1	457 25.6	278 15.6	533 29.8	
身体障害者	82 5.7	77 5.3	98 6.8	104 7.2	370 25.6	241 16.7	450 31.1	
知的障害者	17 8.6	20 10.2	44 22.3	26 13.2	47 23.9	23 11.7	66 33.5	
精神障害者	28 19.3	25 17.2	35 24.1	33 22.8	40 27.6	14 9.7	17 11.7	

## (2) 支援してくれる人との関係

あなたは身の回りのことについて、どなたから支援を受けていますか。(あてはまるものすべてに○、最も機会が多い人には◎)

最も機会の多い支援者について見ると、身体障害者調査では「夫または妻（事実婚を含む）」が30.9%、「子」が14.3%となっています。

知的障害者調査では「父母（夫または妻の父母を含む）」が69.5%を占めています。

精神障害者調査では「父母（夫または妻の父母を含む）」が29.0%で最も多く、次いで「夫または妻（事実婚を含む）」が10.3%となっています。

図表 4 身の回りの支援者（最も機会の多い人）

	全体	夫または妻 (事実婚を含む)	子	孫	父母(夫または妻の父母を含む)	兄弟姉妹	祖父母	その他の親族 (おじ、おば、いとこなど)
全体	1,787 100.0	467 26.1	210 11.8	3 0.2	267 14.9	43 2.4	2 0.1	6 0.3
身体障害者	1,445 100.0	447 30.9	206 14.3	3 0.2	88 6.1	27 1.9	1 0.1	4 0.3
知的障害者	197 100.0	5 2.5	-	-	137 69.5	8 4.1	1 0.5	2 1.0
精神障害者	145 100.0	15 10.3	4 2.8	-	42 29.0	8 5.5	-	-
	近所の人	友人・知人	ホームヘルパー	施設の職員	ボランティア	その他	無回答	
全体	7 0.4	17 1.0	43 2.4	39 2.2	2 0.1	45 2.5	636 35.6	
身体障害者	7 0.5	14 1.0	35 2.4	31 2.1	1 0.1	42 2.9	539 37.3	
知的障害者	-	-	-	4 2.0	-	-	40 20.3	
精神障害者	-	3 2.1	8 5.5	4 2.8	1 0.7	3 2.1	57 39.3	

### (3) 支援を受ける上で困っていること

あなたが支援を受ける上で困っていることは、どのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

身体障害者調査では、「支援してもらうことに気を使う」が24.4%、「経済的な負担が大きい」が18.6%となっています。また、「特にない」は28.2%となっています。

知的障害者調査では、「言いたいことがうまく伝わらない」が50.3%と最も多く、身体障害者調査と精神障害者調査の割合を大幅に上回っています。

精神障害者調査では、「支援してもらうことに気を使う」が24.1%、「経済的な負担が大きい」が23.4%となっています。また、「特にない」は29.7%となっています。

図表 5 支援を受ける上で困っていること

	全体	支援してもらうことに気を使う	経済的な負担が大きい	言いたいことがうまく伝わらない	支援者の代わりになる人がいない	支援のことを相談する人がいない	その他	特にない	無回答
全体	1,787 100.0	404 22.6	333 18.6	262 14.7	228 12.8	132 7.4	48 2.7	483 27.0	382 21.4
身体障害者	1,445 100.0	352 24.4	269 18.6	139 9.6	151 10.4	98 6.8	32 2.2	408 28.2	340 23.5
知的障害者	197 100.0	17 8.6	30 15.2	99 50.3	51 25.9	24 12.2	9 4.6	32 16.2	25 12.7
精神障害者	145 100.0	35 24.1	34 23.4	24 16.6	26 17.9	10 6.9	7 4.8	43 29.7	17 11.7

### 3 情報・コミュニケーションについて

#### (1) 困りごとや悩みの相談先

あなたは、日常生活で困ったことや悩み事について、どなたに相談していますか。  
(あてはまるものすべてに○)

身体障害者調査では、「家族・親族」が 58.6%で最も多く、次いで「医師・看護師等」が 16.7%、「仲間・友人・知人」が 15.7%となっています。

知的障害者調査では、「家族・親族」が 63.5%で最も多く、次いで「施設の職員、ホームヘルパー」が 16.2%となっています。

精神障害者調査では「医師・看護師等」が 65.5%で最も多く、身体障害者調査及び知的障害者調査と比べて特に多くなっています。

図表 6 相談相手

	全体	家族・親族	仲間・友人・知人	近所の人	施設の職員、ホームヘルパー	相談支援事業者	医師・看護師等	障害者団体・家族の会	病院の相談員
全体	1,787 100.0	1,048 58.6	294 16.5	56 3.1	235 13.2	72 4.0	356 19.9	26 1.5	74 4.1
身体障害者	1,445 100.0	847 58.6	227 15.7	53 3.7	177 12.2	44 3.0	242 16.7	15 1.0	40 2.8
知的障害者	197 100.0	125 63.5	24 12.2	2 1.0	32 16.2	19 9.6	19 9.6	7 3.6	3 1.5
精神障害者	145 100.0	76 52.4	43 29.7	1 0.7	26 17.9	9 6.2	95 65.5	4 2.8	31 21.4
	・民生委員 ・児童委員	身体障害者相談員・知的障害者相談員	市の窓口	保健所・保健師	その他	相談する相手がいない	相談はしない	無回答	
全体	47 2.6	29 1.6	54 3.0	16 0.9	87 4.9	51 2.9	201 11.2	178 10.0	
身体障害者	40 2.8	19 1.3	44 3.0	7 0.5	71 4.9	46 3.2	173 12.0	146 10.1	
知的障害者	1 0.5	10 5.1	6 3.0	1 0.5	11 5.6	2 1.0	20 10.2	28 14.2	
精神障害者	6 4.1	-	4 2.8	8 5.5	5 3.4	3 2.1	8 5.5	4 2.8	

## (2) 情報収集や相談をするときに困っていること

あなたが情報収集や相談をするときに困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

各調査とも「どこに問い合わせたらよいかわからない」が最も多く、「身近な場に相談するところがない」が続きます。また、「特に困っていない」は身体障害者調査と精神障害者調査で過半数に達しています。

図表 7 情報収集や相談をするときに困ること

	全体	身近な場に相談するところがない	電話やファクシミリを使った情報収集や相談がしにくい	インターネットを使った情報収集や相談がしにくい	点字や録音テープなどによる情報提供が少ない	相談先で、周りの人に相談内容が聞こえてしまう	どこに問い合わせたらよいかわからない	その他	特に困っていない	無回答
全体	1,787 100.0	178 10.0	110 6.2	128 7.2	11 0.6	31 1.7	238 13.3	50 2.8	925 51.8	345 19.3
身体障害者	1,445 100.0	126 8.7	79 5.5	94 6.5	11 0.8	17 1.2	168 11.6	35 2.4	766 53.0	302 20.9
知的障害者	197 100.0	31 15.7	17 8.6	16 8.1	-	4 2.0	40 20.3	10 5.1	85 43.1	37 18.8
精神障害者	145 100.0	21 14.5	14 9.7	18 12.4	-	10 6.9	30 20.7	5 3.4	74 51.0	6 4.1

## 4 保育・教育・療育について（※25歳未満の方とその保護者の方が対象）

### （1）学校教育修了後の希望進路

あなたは、中学校・高等学校卒業後の進路について、どのように考えていますか。  
（どれか1つに○）

身体障害者調査では、「高等学校・大学・短期大学に進学したい」が21.7%で最も多く、次いで「特に考えていない」が17.4%、「通所施設（作業所等を含む）を利用したい」が15.2%となっています。

知的障害者調査では「通所施設（作業所等を含む）を利用したい」が32.5%と最も多く、次いで「一般企業や役所に就職したい」が14.5%で続いています。

図表 8 中学校・高等学校卒業後の進路希望

	全体	高等学校・大学・短期大学に進学したい	専修学校・専門学校に進学したい	高等技術専門学校に進学したい	一般企業や役所に就職したい	通所施設（作業所等を含む）を利用したい	障害者の入所施設を利用したい	特に考えていない	その他	無回答
全体	134 100.0	17 12.7	3 2.2	2 1.5	17 12.7	34 25.4	4 3.0	16 11.9	5 3.7	36 26.9
身体障害者	46 100.0	10 21.7	-	1 2.2	3 6.5	7 15.2	2 4.3	8 17.4	2 4.3	13 28.3
知的障害者	83 100.0	4 4.8	3 3.6	1 1.2	12 14.5	27 32.5	2 2.4	8 9.6	3 3.6	23 27.7
精神障害者	5 100.0	3 60.0	-	-	2 40.0	-	-	-	-	-

## 5 仕事について（※15歳以上の方が対象）

### （1）就労の有無と種類

あなたは、現在働いて（収入のある仕事に就いて）いますか。（どれか1つに○）

身体障害者調査・精神障害者調査では「働いていない」が過半数に達しています（ただし、身体障害者調査では回答者の大半が60歳以上であることに留意する必要があります）。一方、知的障害者調査では、「働いていない」は31.1%です。

就労の種類については、身体障害者調査では「一般就労（一般枠）」、「一般就労（障害者枠）」を合わせて9.9%、「臨時雇、パート、アルバイト、派遣など」が2.6%となっています。

精神障害者調査では「一般就労（一般枠）」、「一般就労（障害者枠）」を合わせて11.4%、「臨時雇、パート、アルバイト、派遣など」が7.6%となっています。

知的障害者調査については、「福祉作業所、就労支援施設などでの「福祉的就労」」が28.4%と他の障害種別と比べて多くなっています。

図表 9 就労の有無と種類

	全体	（一般就労） （一般枠）	（一般就労） （障害者枠）	臨時雇、パート、 アルバイト、 派遣など	自営業	家庭内職	福祉作業所、就労 支援施設などでの 「福祉的就労」	その他	働いていない	無回答
全体	1,652 100.0	91 5.5	93 5.6	54 3.3	45 2.7	6 0.4	63 3.8	17 1.0	847 51.3	436 26.4
身体障害者	1,372 100.0	77 5.6	59 4.3	35 2.6	41 3.0	5 0.4	17 1.2	14 1.0	712 51.9	412 30.0
知的障害者	148 100.0	1 0.7	32 21.6	9 6.1	- -	- -	42 28.4	3 2.0	46 31.1	15 10.1
精神障害者	132 100.0	13 9.8	2 1.5	10 7.6	4 3.0	1 0.8	4 3.0	- -	89 67.4	9 6.8

## (2) 就業日数・就労時間

あなたは、週に何日間・合計何時間程度働いていますか。

1週間あたりの就業日数は、いずれの調査でも、週5日が最も多くなっています。

1週間あたりの就労時間は、身体障害者調査では31～40時間、知的障害者調査では21～30時間、精神障害者調査では6～10時間が最も多くなっています。

図表 10 1週間あたりの就業日数

	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
全体	369 100.0	8 2.2	17 4.6	26 7.0	37 10.0	210 56.9	23 6.2	4 1.1	44 11.9
身体障害者	248 100.0	6 2.4	11 4.4	21 8.5	26 10.5	139 56.0	18 7.3	3 1.2	24 9.7
知的障害者	87 100.0	- -	2 2.3	2 2.3	6 6.9	58 66.7	5 5.7	1 1.1	13 14.9
精神障害者	34 100.0	2 5.9	4 11.8	3 8.8	5 14.7	13 38.2	- -	- -	7 20.6

図表 11 1週間あたりの就労時間

	全体	5時間以下	6～10時間	11～20時間	21～30時間	31～40時間	41時間以上	無回答
全体	369 100.0	42 11.4	56 15.2	45 12.2	57 15.4	78 21.1	46 12.5	45 12.2
身体障害者	248 100.0	27 10.9	28 11.3	32 12.9	31 12.5	56 22.6	42 16.9	32 12.9
知的障害者	87 100.0	7 8.0	19 21.8	10 11.5	23 26.4	20 23.0	1 1.1	7 8.0
精神障害者	34 100.0	8 23.5	9 26.5	3 8.8	3 8.8	2 5.9	3 8.8	6 17.6



### (3) 仕事で困っていること

【現在働いていると回答した人に対する設問】あなたが仕事をする上で、困ったり、つらいことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「収入が少ない」が身体障害者調査(22.2%)、知的障害者調査(25.3%)、精神障害者調査(41.2%)で最も多く、身体障害者調査では「通勤が大変」が19.4%、知的障害者調査(17.2%)、精神障害者調査(35.3%)では「職場の人間関係」が続きます。

図表 12 仕事で困っていることやつらいこと

	全体	通勤が大変	収入が少ない	肉体的につらい	仕事が合わない	職場の人間関係	職場の環境が整備されていない	職場の中で支援者を得にくい	その他	困ったり、つらいことは特にない	無回答
全体	369 100.0	62 16.8	91 24.7	54 14.6	14 3.8	56 15.2	16 4.3	22 6.0	21 5.7	121 32.8	41 11.1
身体障害者	248 100.0	48 19.4	55 22.2	41 16.5	9 3.6	29 11.7	11 4.4	10 4.0	13 5.2	88 35.5	27 10.9
知的障害者	87 100.0	8 9.2	22 25.3	8 9.2	3 3.4	15 17.2	2 2.3	10 11.5	5 5.7	28 32.2	9 10.3
精神障害者	34 100.0	6 17.6	14 41.2	5 14.7	2 5.9	12 35.3	3 8.8	2 5.9	3 8.8	5 14.7	5 14.7

#### (4) 障害のある人の一般就労のため必要なこと

あなたは、障害のある人が、企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だと思いますか。(主なもの3つまでに○)

身体障害者調査では、「障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務体制の支援」が25.7%で最も多く、「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」が20.4%で続いています。

知的障害者調査では、「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」が37.2%で最も多く、「職場を理解するための就労体験・実習」が24.3%、「障害の特性にあった職業・雇用の拡大」が23.6%で続いています。

精神障害者調査では、「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」が38.6%で最も多く、「障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務体制の支援」が34.1%、「働くための知識・能力を身につける職業訓練」が27.3%で続いています。

図表 13 障害者の一般就労のため必要な支援

	全体	就労までの総合的な相談支援	働くための知識・職業訓練	職場を理解するための就労体験・実習	障害の特性にあった職業・雇用の拡大	障害者向けの求人情報の提供	障害理解を促進するための職場への働きかけ	職場のバリアフリー化	障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務体制の支援	職場に定着するための支援	その他	特にない	無回答
全体	1,652 100.0	386 23.4	198 12.0	130 7.9	329 19.9	153 9.3	178 10.8	93 5.6	418 25.3	75 4.5	22 1.3	117 7.1	740 44.8
身体障害者	1,372 100.0	280 20.4	137 10.0	81 5.9	264 19.2	128 9.3	131 9.5	88 6.4	353 25.7	33 2.4	18 1.3	99 7.2	662 48.3
知的障害者	148 100.0	55 37.2	25 16.9	36 24.3	35 23.6	15 10.1	25 16.9	3 2.0	20 13.5	23 15.5	4 2.7	7 4.7	46 31.1
精神障害者	132 100.0	51 38.6	36 27.3	13 9.8	30 22.7	10 7.6	22 16.7	2 1.5	45 34.1	19 14.4	-	11 8.3	32 24.2

## 6 外出について

### (1) 外出の頻度

ふだん、あなたは週に何日くらい外出しますか。(どれか1つに○)

身体障害者調査では、「ほとんど毎日」が28.0%、「週に3～5日程度」が25.3%となっています。

知的障害者調査では、「ほとんど毎日」が59.4%、「週に3～5日程度」が22.8%となっています。

精神障害者調査では、「ほとんど毎日」が47.6%、「週に3～5日程度」が33.8%となっています。

一方、施設入所者調査では、「ほとんど外出しない」が過半数を占めています。

図表 14 外出頻度

	全体	ほとんど毎日	週に3～5日程度	週に1～2日程度	ほとんど外出しない	無回答
全体	1,850 100.0	594 32.1	465 25.1	371 20.1	233 12.6	187 10.1
身体障害者	1,445 100.0	404 28.0	365 25.3	321 22.2	184 12.7	171 11.8
知的障害者	197 100.0	117 59.4	45 22.8	14 7.1	11 5.6	10 5.1
精神障害者	145 100.0	69 47.6	49 33.8	18 12.4	5 3.4	4 2.8
施設入所者	63 100.0	4 6.3	6 9.5	18 28.6	33 52.4	2 3.2

## 7 余暇活動について

### (1) 余暇時間にしていること

あなたは、時間に余裕があるときにどのようなことをしていますか。(あてはまるものすべてに○)

各調査とも「家でゆっくりくつろぐ」が最も多く、知的障害者調査、精神障害者調査、施設入所者調査で約8割、身体障害者調査で約6割となっています。

図表 15 余暇時間にしていること

	全体	家でゆっくりくつろぐ	家で趣味、体操、学習活動などを行う	家の周りを散歩(散策)する	友人や知人と会って交流を深める	デパートや店などに出かける	観劇、映画、音楽、行事などへ行く	スポーツに出かける	図書館や博物館などへ行く	その他	特に何もしていない	無回答
全体	1,850 100.0	1,175 63.5	441 23.8	484 26.2	424 22.9	447 24.2	328 17.7	180 9.7	155 8.4	116 6.3	118 6.4	180 9.7
身体障害者	1,445 100.0	861 59.6	330 22.8	375 26.0	356 24.6	325 22.5	242 16.7	142 9.8	121 8.4	91 6.3	101 7.0	170 11.8
知的障害者	197 100.0	152 77.2	56 28.4	49 24.9	26 13.2	66 33.5	43 21.8	17 8.6	12 6.1	10 5.1	9 4.6	7 3.6
精神障害者	145 100.0	111 76.6	42 29.0	50 34.5	36 24.8	47 32.4	40 27.6	19 13.1	20 13.8	11 7.6	4 2.8	2 1.4
施設入所者	63 100.0	51 81.0	13 20.6	10 15.9	6 9.5	9 14.3	3 4.8	2 3.2	2 3.2	4 6.3	4 6.3	1 1.6

## 8 権利擁護について

### (1) 障害による差別を受けた経験

あなたは、障害があるというだけで、差別的な扱いを受けた経験がありますか。(あてはまるものすべてに○)

身体障害者調査では、いずれの項目とも1割未満であり、「特にない」が63.9%を占めています。

「差別的な言葉を言われた」が知的障害者調査(22.8%)、精神障害者調査(15.2%)で最も多くなっています。

施設入所者調査は、いずれの項目とも1割未満であり、「特にない」が66.7%を占めています。

図表 16 障害による差別を受けた経験

	全体	入学できなかった 希望した学校に	希望する仕事に 就けなかった	職場での労働条件 や給料が、周囲の 人に比べて低い	交通機関や施設の 利用を断られた	医療機関から受診 や治療を断られた	入居を断られた 賃貸物件への	飲食店やホテルな どで利用を断られ た	差別的な言葉を 言われた	その他	特にない	無回答
全体	1,850 100.0	31 1.7	75 4.1	76 4.1	36 1.9	41 2.2	19 1.0	8 0.4	180 9.7	51 2.8	1,152 62.3	344 18.6
身体障害者	1,445 100.0	14 1.0	51 3.5	47 3.3	24 1.7	17 1.2	7 0.5	7 0.5	109 7.5	27 1.9	923 63.9	310 21.5
知的障害者	197 100.0	15 7.6	13 6.6	20 10.2	9 4.6	14 7.1	4 2.0	1 0.5	45 22.8	10 5.1	96 48.7	15 7.6
精神障害者	145 100.0	1 0.7	10 6.9	7 4.8	2 1.4	8 5.5	8 5.5	-	22 15.2	8 5.5	91 62.8	13 9.0
施設入所者	63 100.0	1 1.6	1 1.6	2 3.2	1 1.6	2 3.2	-	-	4 6.3	6 9.5	42 66.7	6 9.5

## (2) 障害者虐待の防止に必要な制度・体制

障害者虐待の防止のために、あなたは、市がどのような制度や体制を整備する必要があると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「通報や相談を受ける機関」が身体障害者調査(37.6%)、知的障害者調査(48.7%)、精神障害者調査(55.2%)、施設入所者調査(33.3%)と最も多く、身体障害者調査と精神障害者調査では「緊急一時保護施設など避難する場所」が続き、知的障害者調査では「福祉施設の職員や市民などへの虐待防止のための啓発活動」が続きます。施設入所者調査では、「市職員や福祉施設の職員などに対する権利擁護や虐待防止のための研修」が27.0%で続きます。

図表 17 障害者虐待の防止に必要な制度・体制

	全体	通報や相談を受ける機関	緊急一時保護施設など 避難する場所	関係機関による支援の ネットワーク	福祉施設の職員や市民などへの 虐待防止のための啓発活動	市職員や福祉施設の職員などに対する 権利擁護や虐待防止のための対 研修	地域の民生委員などとの連携	その他	特 に な い	無 回 答
全体	1,850 100.0	741 40.1	519 28.1	437 23.6	402 21.7	358 19.4	393 21.2	40 2.2	313 16.9	410 22.2
身体障害者	1,445 100.0	544 37.6	371 25.7	307 21.2	277 19.2	247 17.1	289 20.0	26 1.8	231 16.0	371 25.7
知的障害者	197 100.0	96 48.7	74 37.6	71 36.0	77 39.1	64 32.5	53 26.9	7 3.6	34 17.3	19 9.6
精神障害者	145 100.0	80 55.2	59 40.7	44 30.3	32 22.1	30 20.7	41 28.3	4 2.8	30 20.7	14 9.7
施設入所者	63 100.0	21 33.3	15 23.8	15 23.8	16 25.4	17 27.0	10 15.9	3 4.8	18 28.6	6 9.5

### (3) 成年後見制度の認知状況

あなたは、成年後見制度を知っていますか。(どれか1つに○)

身体障害者調査(42.5%)、知的障害者調査(41.1%)では「聞いたことがあるが、内容は知らない」が最も多く、「聞いたことがあり、内容まで知っている」が続いています。

精神障害者調査では、「聞いたことがあるが、内容は知らない」が38.6%で最も多く、「聞いたことがない」が29.7%が続いています。

施設入所者調査では、「聞いたことがない」が42.9%で最も多くなっています。

一般市民調査では、「聞いたことがあり内容まで知っている」、「聞いたことがあるが、内容は知らない」の合計が75.1%となっています。

図表 18 成年後見制度の認知状況

	全体	聞いたことがあり、 内容まで知っている	が、聞いたことがある が、内容は知らない	聞いたことがない	無回答
全体	2,075 100.0	523 25.2	872 42.0	414 20.0	266 12.8
身体障害者	1,445 100.0	347 24.0	614 42.5	247 17.1	237 16.4
知的障害者	197 100.0	55 27.9	81 41.1	51 25.9	10 5.1
精神障害者	145 100.0	40 27.6	56 38.6	43 29.7	6 4.1
施設入所者	63 100.0	13 20.6	20 31.7	27 42.9	3 4.8
一般市民	225 100.0	68 30.2	101 44.9	46 20.4	10 4.4

## 9 災害・緊急時の対応について

### (1) 緊急な病状になったときに不安なこと

もし、あなたが緊急な病状になったことを考えると、特に不安に感じることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

身体障害者調査では、「自分だけでは動けない」が41.6%で最も多く、「トイレや入浴設備」が23.7%で続いています。

知的障害者調査では、「自分だけでは動けない」が54.3%で最も多く、「状況を周囲の人に伝えることが困難」が51.8%で続いています。

精神障害者調査では、「経済的な負担が増える」が35.9%で最も多く、「自分だけでは動けない」が29.7%で続いています。

施設入所者調査では、「自分だけでは動けない」が49.2%で最も多く、「状況を周囲の人に伝えることが困難」が31.7%で続いています。

図表 19 緊急な病状になったときに不安なこと

	全体	自分だけでは動けない	状況を周囲の人に伝えることが困難	電話などの連絡の手段が使えない	頼れる緊急なときに人がいない	経済的な負担が増える	支援者がいらない	寝込んだときの不安	仕事ができなくなる
全体	1,850 100.0	782 42.3	362 19.6	262 14.2	191 10.3	326 17.6	189 10.2	183 9.9	
身体障害者	1,445 100.0	601 41.6	212 14.7	182 12.6	148 10.2	241 16.7	153 10.6	117 8.1	
知的障害者	197 100.0	107 54.3	102 51.8	66 33.5	21 10.7	23 11.7	11 5.6	34 17.3	
精神障害者	145 100.0	43 29.7	28 19.3	14 9.7	22 15.2	52 35.9	25 17.2	29 20.0	
施設入所者	63 100.0	31 49.2	20 31.7	-	-	10 15.9	-	3 4.8	
	世話をす る子ども や高齢者 がないの	寝る場所 の確保	トイレや 入浴設備	詳細な情 報の入手	その他	特に不安 はない	無回答		
全体	64 3.5	210 11.4	411 22.2	202 10.9	58 3.1	271 14.6	230 12.4		
身体障害者	45 3.1	167 11.6	343 23.7	156 10.8	43 3.0	226 15.6	199 13.8		
知的障害者	6 3.0	25 12.7	33 16.8	27 13.7	8 4.1	17 8.6	13 6.6		
精神障害者	13 9.0	18 12.4	25 17.2	19 13.1	4 2.8	18 12.4	11 7.6		
施設入所者	-	-	10 15.9	-	3 4.8	10 15.9	7 11.1		



## 10 障害者総合支援法について

### (1) 入所者・入院者の地域生活移行への考え方

市では、「第4期船橋市障害福祉計画」に基づき、現在、福祉施設に入所または病院に入院している障害者のうち退所・退院が可能な人について、地域生活への移行を支援しています。このことについて、あなたはどのように思いますか。(どれか1つに○)

精神障害者調査では、「地域生活への移行は、積極的に進めてほしい」(35.9%)が「地域生活への移行は、慎重に進めてほしい」(30.3%)を上回っていますが、これ以外の調査では「地域生活への移行は、慎重に進めてほしい」が「地域生活への移行は、積極的に進めてほしい」を上回っています。

図表 20 入所者・入院者の地域生活移行への考え方

	全体	地域生活への移行は、積極的に進めてほしい	地域生活への移行は、慎重に進めてほしい	地域生活への移行を進める必要はない	その他	わからない	無回答
全体	2,075 100.0	392 18.9	703 33.9	35 1.7	17 0.8	568 27.4	360 17.3
身体障害者	1,445 100.0	246 17.0	465 32.2	18 1.2	10 0.7	395 27.3	311 21.5
知的障害者	197 100.0	32 16.2	75 38.1	5 2.5	1 0.5	65 33.0	19 9.6
精神障害者	145 100.0	52 35.9	44 30.3	1 0.7	2 1.4	31 21.4	15 10.3
施設入所者	63 100.0	7 11.1	16 25.4	3 4.8	2 3.2	30 47.6	5 7.9
一般市民	225 100.0	55 24.4	103 45.8	8 3.6	2 0.9	47 20.9	10 4.4

## (2) 福祉的就労から一般就労への移行の考え方

現在、福祉的就労（障害者の作業所などでの就労）をしている障害者のうち、訓練により一般就労（企業等への就労、在宅での就労）が可能となる人について、市では一般就労への移行を支援しています。このことについて、あなたはどのように思いますか。（どれか1つに○）

精神障害者調査では、「一般就労への移行は、積極的に進めてほしい」（37.9%）が「一般就労への移行は、慎重に進めてほしい」（32.4%）を上回っていますが、その他の調査では「一般就労への移行は、慎重に進めてほしい」が「一般就労への移行は、積極的に進めてほしい」を上回っています。

図表 21 福祉的就労から一般就労への移行の考え方

	全体	積極的就労への移行は、進めてほしい	一般就労への移行は、慎重に進めてほしい	一般就労への移行を進める必要はない	その他	わからない	無回答
全体	2,075 100.0	507 24.4	614 29.6	18 0.9	17 0.8	494 23.8	425 20.5
身体障害者	1,445 100.0	311 21.5	383 26.5	7 0.5	9 0.6	359 24.8	376 26.0
知的障害者	197 100.0	50 25.4	72 36.5	3 1.5	2 1.0	52 26.4	18 9.1
精神障害者	145 100.0	55 37.9	47 32.4	1 0.7	3 2.1	24 16.6	15 10.3
施設入所者	63 100.0	11 17.5	13 20.6	1 1.6	1 1.6	28 44.4	9 14.3
一般市民	225 100.0	80 35.6	99 44.0	6 2.7	2 0.9	31 13.8	7 3.1

### (3) 障害福祉サービスの利用意向

今後、あなたが利用したいと思う、または現在利用している障害福祉サービスは何か。(あてはまるものすべてに○)

身体障害者調査では、「居宅介護（ホームヘルプ）」が16.8%で最も多く、「生活介護」が9.8%で続きます。

知的障害者調査では、「短期入所（ショートステイ）」が23.4%で最も多く、「グループホーム（共同生活援助）」が21.8%で続きます。

精神障害者調査では、「自立訓練」が21.4%で最も多く、「居宅介護（ホームヘルプ）」が19.3%で続きます。

施設入所者調査では、「施設入所支援」が39.7%で最も多く、「生活介護」が28.6%で続きます。

図表 22 今後の障害福祉サービスの利用意向

	全体	(ホームヘルプ) 居宅介護	重度訪問介護	行動援護	同行援護	療養介護	生活介護	(ショートステイ) 短期入所	重度障害者等 包括支援
全体	1,850 100.0	292 15.8	53 2.9	93 5.0	121 6.5	75 4.1	200 10.8	180 9.7	65 3.5
身体障害者	1,445 100.0	243 16.8	46 3.2	61 4.2	89 6.2	64 4.4	142 9.8	119 8.2	52 3.6
知的障害者	197 100.0	13 6.6	2 1.0	21 10.7	16 8.1	4 2.0	22 11.2	46 23.4	8 4.1
精神障害者	145 100.0	28 19.3	4 2.8	6 4.1	8 5.5	4 2.8	18 12.4	13 9.0	2 1.4
施設入所者	63 100.0	8 12.7	1 1.6	5 7.9	8 12.7	3 4.8	18 28.6	2 3.2	3 4.8
	施設入所支援	自立訓練	就労移行支援	就労継続支援A型	就労継続支援B型	グループホーム (共同生活援助)	どれも利用したい と思わない	無回答	
全体	195 10.5	168 9.1	73 3.9	38 2.1	53 2.9	100 5.4	433 23.4	584 31.6	
身体障害者	136 9.4	103 7.1	23 1.6	8 0.6	13 0.9	35 2.4	349 24.2	521 36.1	
知的障害者	25 12.7	29 14.7	23 11.7	17 8.6	29 14.7	43 21.8	32 16.2	29 14.7	
精神障害者	9 6.2	31 21.4	25 17.2	12 8.3	10 6.9	16 11.0	42 29.0	25 17.2	
施設入所者	25 39.7	5 7.9	2 3.2	1 1.6	1 1.6	6 9.5	10 15.9	9 14.3	

# 11 船橋市の障害者福祉について

## (1) 福祉サービス情報の入手方法

あなたは、障害のある人のための市の福祉サービスの内容について、どのようなところで知ることが多いですか。(主なもの2つまでに○)

身体障害者調査では、「市の広報紙「広報ふなばし」」が41.7%で他の媒体と比べて特に多くなっています。

知的障害者調査では、「市の広報紙「広報ふなばし」」、「市障害福祉課が発行する「障害福祉のしおり」」が28.4%で最も多くなっています。

精神障害者調査では、「市の広報紙「広報ふなばし」」、「医師・看護師等」が23.4%で最も多くなっています。

施設入所者調査では、「障害者施設」が20.6%と、他の調査に比べて特に多くなっていますが、「特にない」という回答も27.0%と多くなっています。

一般市民調査では、「市の広報紙「広報ふなばし」」が44.9%で最も多く、「マスメディア(テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等)の記事や番組」が38.7%で続きます。

図表 23 福祉サービス情報の入手方法

	全体	市の広報紙「広報ふなばし」	市障害福祉課が発行する「障害福祉のしおり」	市役所や市の機関などにあるパンフレット	市のホームページ	市障害福祉課への問合せ	機関紙やパンフレット、ホームページ	市や障害者団体以外のホームページ	マスメディア(テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等)の記事や番組	社会福祉協議会	民生委員・児童委員
全体	2,075 100.0	800 38.6	322 15.5	92 4.4	148 7.1	156 7.5	30 1.4	7 0.3	175 8.4	33 1.6	34 1.6
身体障害者	1,445 100.0	603 41.7	242 16.7	64 4.4	111 7.7	126 8.7	14 1.0	5 0.3	71 4.9	24 1.7	23 1.6
知的障害者	197 100.0	56 28.4	56 28.4	9 4.6	13 6.6	19 9.6	6 3.0	1 0.5	3 1.5	1 0.5	-
精神障害者	145 100.0	34 23.4	10 6.9	8 5.5	7 4.8	2 1.4	2 1.4	-	13 9.0	-	3 2.1
施設入所者	63 100.0	6 9.5	6 9.5	2 3.2	1 1.6	6 9.5	2 3.2	-	1 1.6	-	1 1.6
一般市民	225 100.0	101 44.9	8 3.6	9 4.0	16 7.1	3 1.3	6 2.7	1 0.4	87 38.7	8 3.6	7 3.1
	障害者施設	医師・看護師等	家族や仲間	病院の相談員	薬局	市の税務部門	市の生活支援課	その他	特にない	無回答	
全体	71 3.4	145 7.0	125 6.0	77 3.7	6 0.3	2 0.1	30 1.4	59 2.8	214 10.3	422 20.3	
身体障害者	29 2.0	106 7.3	61 4.2	55 3.8	5 0.3	1 0.1	24 1.7	30 2.1	116 8.0	335 23.2	
知的障害者	21 10.7	2 1.0	36 18.3	1 0.5	-	-	3 1.5	10 5.1	19 9.6	34 17.3	
精神障害者	8 5.5	34 23.4	10 6.9	21 14.5	1 0.7	1 0.7	3 2.1	9 6.2	22 15.2	21 14.5	
施設入所者	13 20.6	3 4.8	3 4.8	-	-	-	-	5 7.9	17 27.0	11 17.5	
一般市民	-	-	15 6.7	-	-	-	-	5 2.2	40 17.8	21 9.3	

## (2) 今後必要だと思う福祉施策

あなたが今後、必要だと思う障害者福祉施策は何ですか。(主なもの3つまでに○)

身体障害者調査では、「医療費の軽減」が36.6%で最も多く、「所得保障の充実」が23.4%で続きます。

知的障害者調査では、「働く場の確保」が33.5%で最も多く、「社会福祉施設の充実」が24.9%、「医療費の軽減」が23.4%、「所得保障の充実」が22.8%で続きます。

精神障害者調査では、「医療費の軽減」が45.5%で最も多く、「所得保障の充実」が44.1%、「働く場の確保」が36.6%と続きます。

施設入所者調査では、「社会福祉施設の充実」が28.6%で最も多くなっています。

一般市民調査では、「家族が休養できる体制」、「医療費の軽減」が26.2%で最も多く、「能力に応じた職業訓練」が21.8%、「相談支援体制の充実」が21.3%で続いており、障害者を対象とした他の調査とは傾向が異なります。

図表 24 今後必要だと思う福祉施策

	全体	所得保障の充実	医療費の軽減	社会福祉施設の充実	障害者に適した住宅の確保	移動を容易にする施策の充実	介助体制の充実	相談支援体制の充実
全体	2,075 100.0	510 24.6	714 34.4	379 18.3	246 11.9	176 8.5	42 2.0	289 13.9
身体障害者	1,445 100.0	338 23.4	529 36.6	252 17.4	161 11.1	138 9.6	-	173 12.0
知的障害者	197 100.0	45 22.8	46 23.4	49 24.9	25 12.7	15 7.6	-	42 21.3
精神障害者	145 100.0	64 44.1	66 45.5	26 17.9	21 14.5	7 4.8	-	19 13.1
施設入所者	63 100.0	16 25.4	14 22.2	18 28.6	8 12.7	2 3.2	-	7 11.1
一般市民	225 100.0	47 20.9	59 26.2	34 15.1	31 13.8	14 6.2	42 18.7	48 21.3
	機能専門回復的な訓練	能力に応じた職業訓練	働く場の確保	エスポート・レクリエーション・活動の充実	家族が休養できる体制	差別の解消や権利を擁護する体制	その他	無回答
全体	196 9.4	231 11.1	348 16.8	112 5.4	330 15.9	161 7.8	46 2.2	547 26.4
身体障害者	138 9.6	120 8.3	180 12.5	62 4.3	212 14.7	85 5.9	28 1.9	429 29.7
知的障害者	8 4.1	28 14.2	66 33.5	10 5.1	28 14.2	31 15.7	4 2.0	49 24.9
精神障害者	10 6.9	30 20.7	53 36.6	22 15.2	27 18.6	19 13.1	6 4.1	13 9.0
施設入所者	4 6.3	4 6.3	5 7.9	9 14.3	4 6.3	6 9.5	7 11.1	12 19.0
一般市民	36 16.0	49 21.8	44 19.6	9 4.0	59 26.2	20 8.9	1 0.4	44 19.6

### 3 アンケート調査結果(種類別)

#### 1 身体障害者を対象とした調査結果

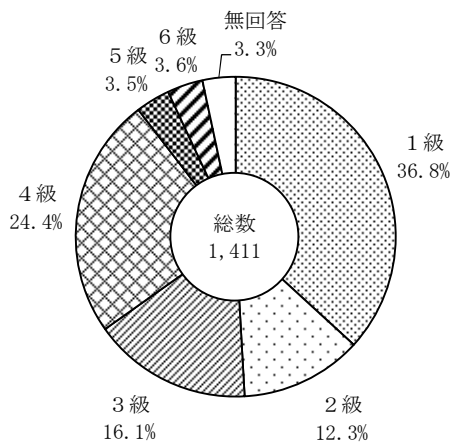
##### (1) 身体障害者手帳の等級と取得年齢

あなたがお持ちの障害者手帳等の種類と等級についてうかがいます。下の表のあてはまる番号と等級(程度)に○をつけて( )内に取得した年齢を記入してください。

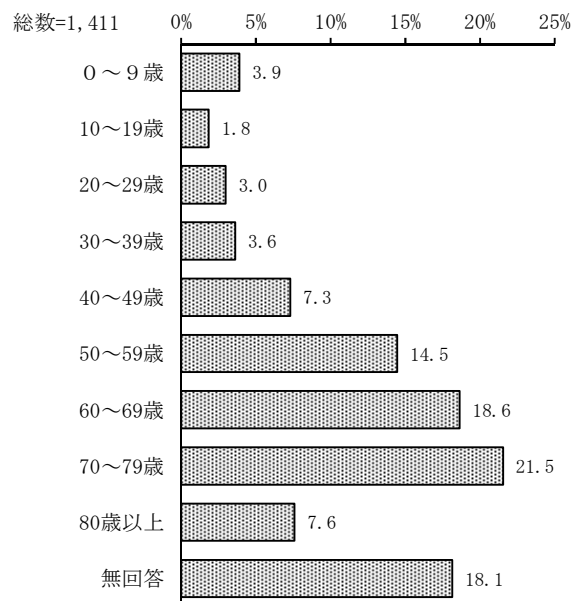
等級(程度)は「1級」が36.8%で最も多く、「4級」が24.4%、「3級」が16.1%、「2級」が12.3%で続きます。

取得した年齢は、「70～79歳」が21.5%で最も多く、「60～69歳」が18.6%、「50～59歳」が14.5%で続きます。

図表 25 身体障害者手帳の等級



図表 26 身体障害者手帳を取得した年齢

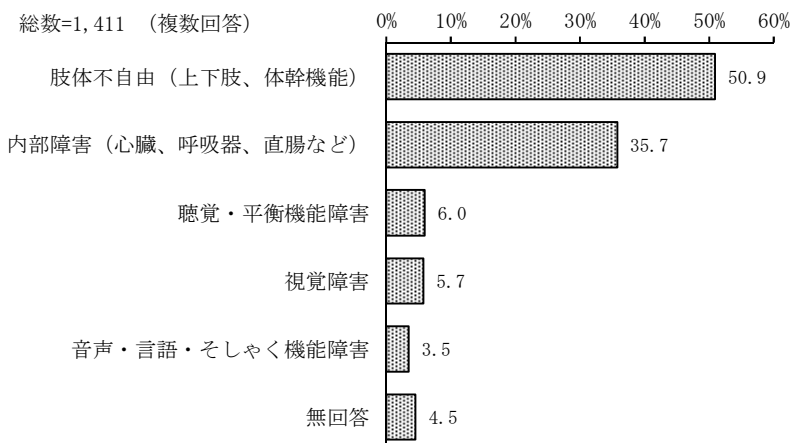


## (2) 障害の種類 (部位)

【身体障害者手帳をお持ちの方にかがいます。】障害の種類 (部位) は、次のうちのどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「肢体不自由 (上下肢、体幹機能)」が 50.9%で最も多く、「内部障害 (心臓、呼吸器、直腸など)」が 35.7%、「聴覚・平衡機能障害」が 6.0%、「視覚障害」が 5.7%で続きます。

図表 27 障害の種類 (部位)

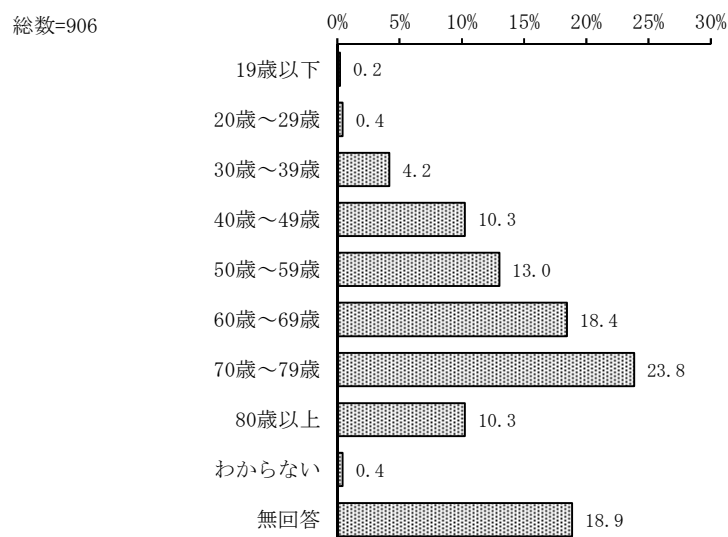


## (3) 支援してくれる人 (主な支援者) の年齢

【家族・親族による支援を受けている方に対する設問】主な支援者は何歳くらいの方ですか。(どれか1つに○)

「70歳～79歳」が 23.8%で最も多く、「60歳～69歳」が 18.4%、「50歳～59歳」が 13.0%、「40歳～49歳」、「80歳以上」が 10.3%で続きます。

図表 28 主な支援者の年齢

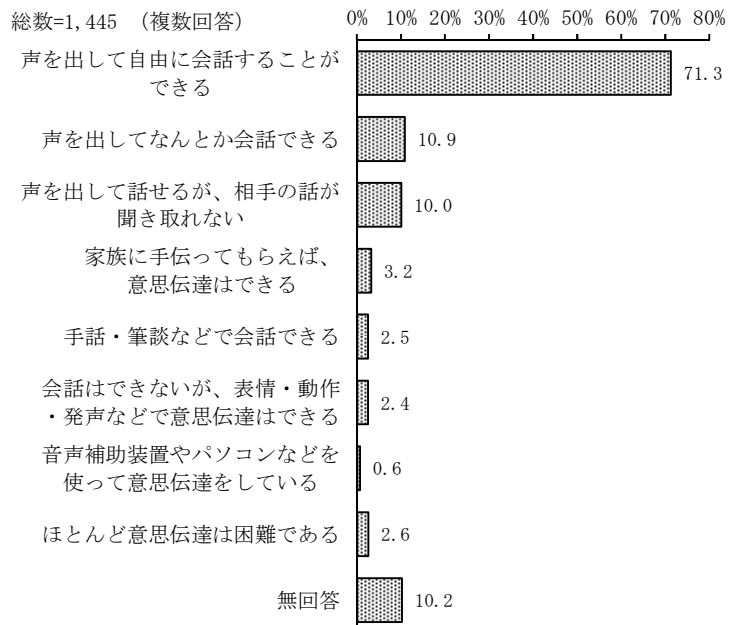


#### (4) 会話や意思の伝達ができる程度

あなたは、日頃どのようにコミュニケーション（会話や意思の伝達）をとることができますか。（あてはまるものすべてに○）

「声を出して自由に会話することができる」が71.3%で最も多く、「声を出してなんとか会話できる」が10.9%、「声を出して話せるが、相手の話が聞き取れない」が10.0%で続きます。

図表 29 コミュニケーション（会話や意思の伝達）の程度

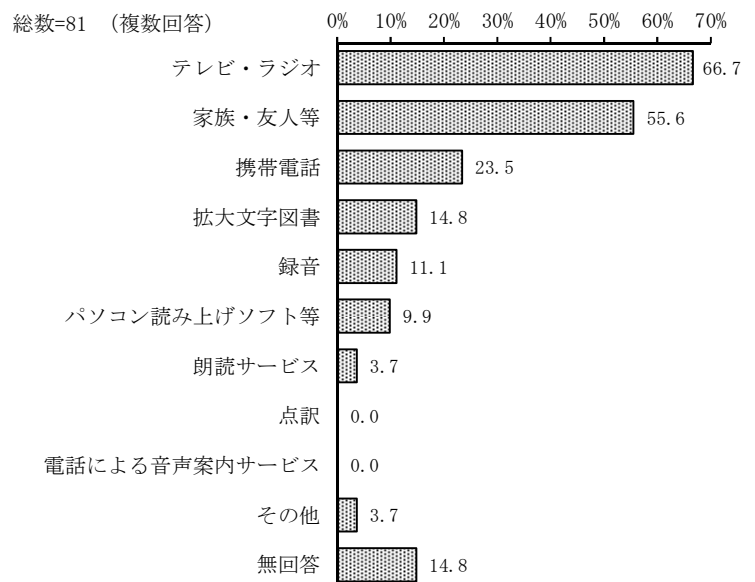


#### (5) コミュニケーション方法

【視覚障害・聴覚障害の方にうかがいます。】あなたは、日頃どのようにして情報を得たり、コミュニケーションをとったりしていますか。（あてはまるものすべてに○）

視覚障害者では、「テレビ・ラジオ」が66.7%で最も多く、「家族・友人等」が55.6%、「携帯電話」が23.5%で続きます。

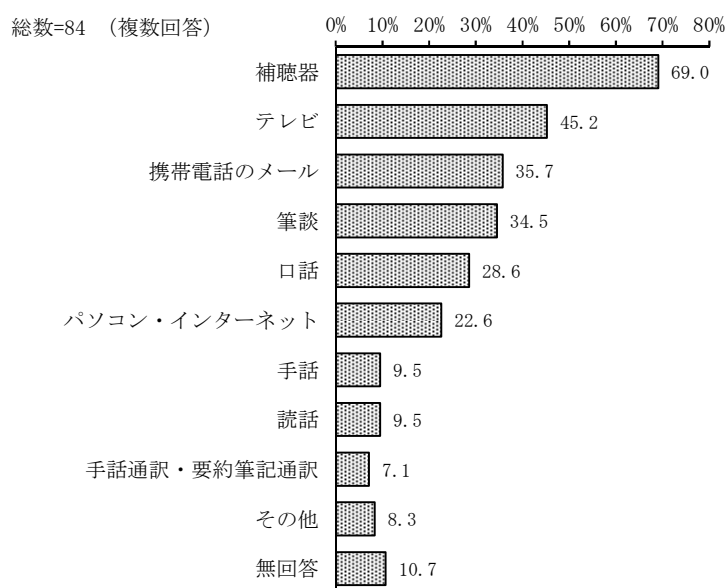
図表 30 日頃どのようにして情報を得たり、コミュニケーションをとったりしていますか【視覚障害者】





聴覚障害者では、「補聴器」が69.0%で最も多く、「テレビ」が45.2%、「携帯電話のメール」が35.7%、「筆談」が34.5%で続きます。

図表 31  
日頃どのようにして情報を得たり、コミュニケーションをとったりしていますか【聴覚障害者】



## 2 知的障害者を対象とした調査結果

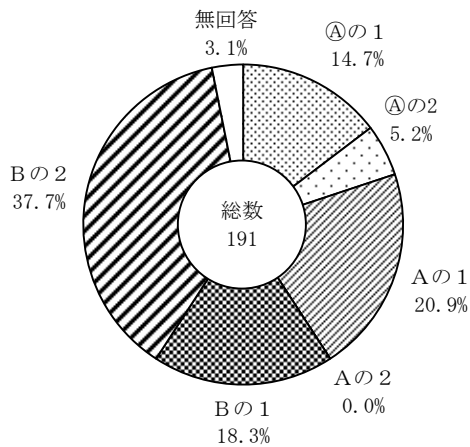
### (1) 療育手帳の判定と取得年齢

あなたがお持ちの障害者手帳等の種類と等級についてうかがいます。下の表のあてはまる番号と等級（程度）に○をつけて（ ）内に取得した年齢を記入してください。

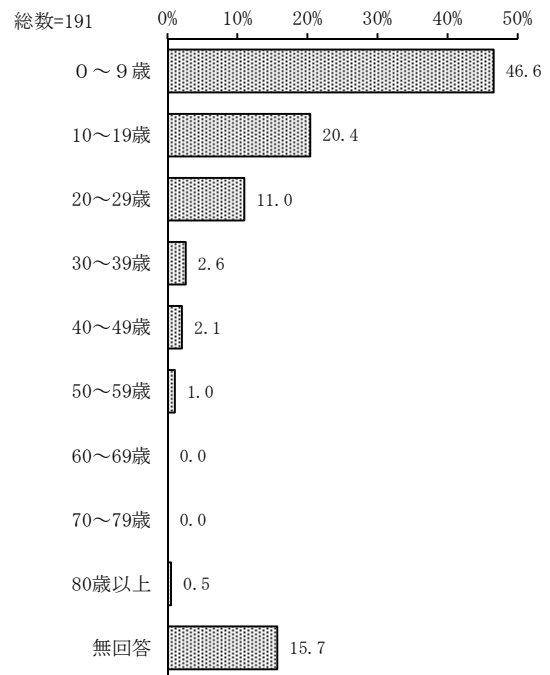
等級（程度）は、「Bの2」が37.7%、「Aの1」が20.9%、「Bの1」が18.3%、「Aの1」が14.7%、「Aの2」が5.2%となっています。

取得した年齢は、「0～9歳」が46.6%で最も多く、「10～19歳」が20.4%、「20～29歳」が11.0%で続きます。

図表 32 療育手帳の等級



図表 33 療育手帳を取得した年齢

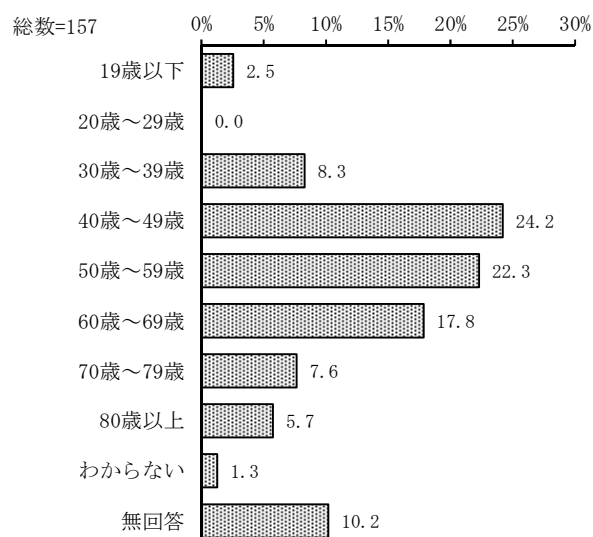


## (2) 支援してくれる人（主な支援者）の年齢

【家族・親族による支援を受けている方に対する設問】主な支援者は何歳くらいの方ですか。（どれか1つに○）

「40歳～49歳」が24.2%で最も多く、「50歳～59歳」が22.3%、「60歳～69歳」が17.8%で続きます。

図表 34 主な支援者の年齢



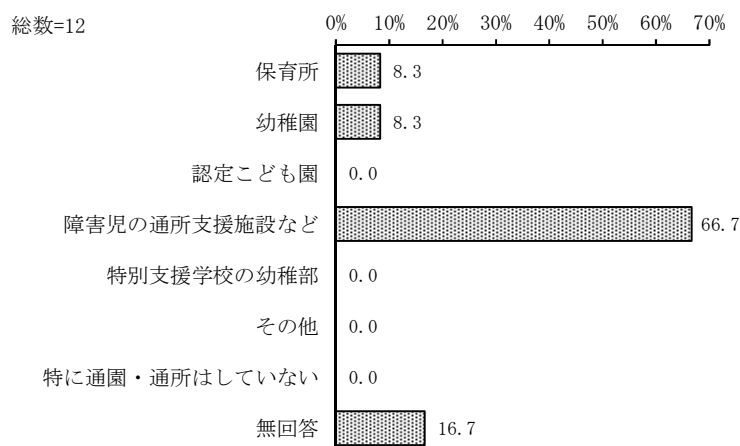
### (3) 通園・通学先

【25歳未満の方に対する設問】現在、あなたが通園・通学しているところはどこですか。(どれか1つに○)

#### 【就学前の方】

「障害児の通所支援施設など」が66.7%、「保育所」、「幼稚園」が8.3%となっています。

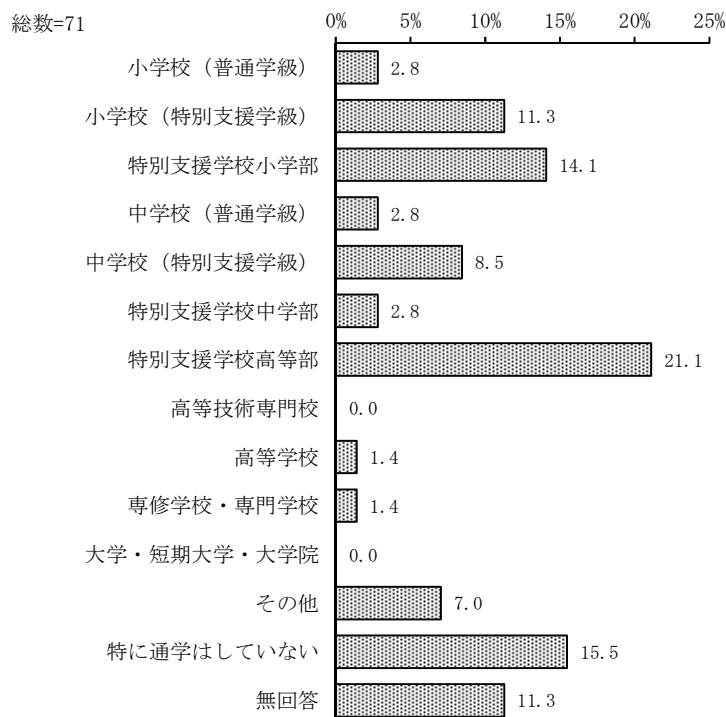
図表 35 通園・通所先【就学前の方】



#### 【学齢期から25歳未満】

「特別支援学校高等部」が21.1%で最も多く、「特別支援学校小学部」が14.1%、「小学校（特別支援学級）」が11.3%、「中学校（特別支援学級）」が8.5%で続きます。

図表 36 通学先【学齢期から25歳未満】

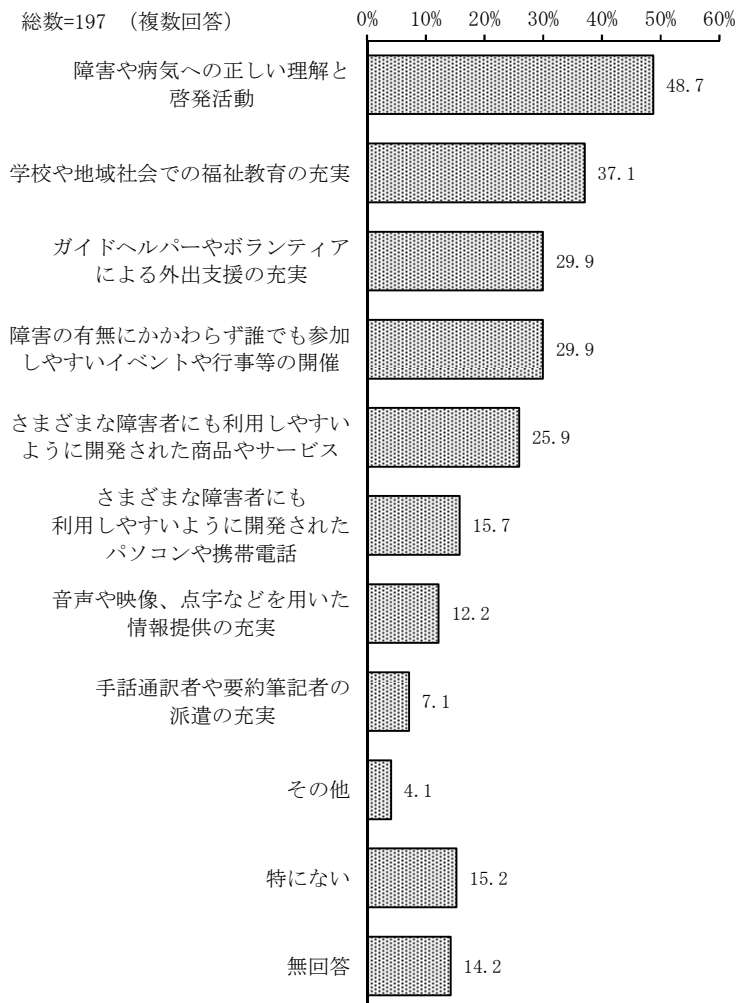


#### (4) バリアフリー化を進めるために重要なこと

交通機関やまちのバリアフリー化だけでなく、制度や意識の面も含めた「社会全体のバリアフリー化」を進めるために、あなたが重要だと思うものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「障害や病気への正しい理解と啓発活動」が 48.7%で最も多く、「学校や地域社会での福祉教育の充実」が 37.1%、「ガイドヘルパーやボランティアによる外出支援の充実」、「障害の有無にかかわらず誰でも参加しやすいイベントや行事等の開催」が 29.9%で続きます。

図表 37 「社会全体のバリアフリー化」を進めるため重要なこと



### 3 精神障害者を対象とした調査結果

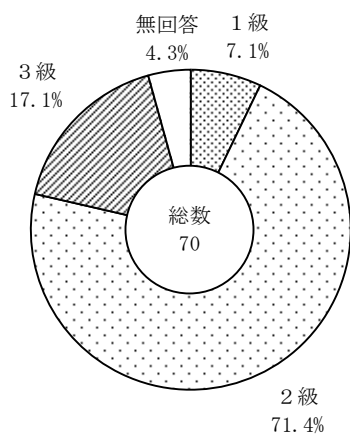
#### (1) 障害者手帳等の取得状況

あなたがお持ちの障害者手帳等の種類と等級についてうかがいます。下の表のあてはまる番号と等級（程度）に○をつけて（ ）内に取得した年齢を記入してください。

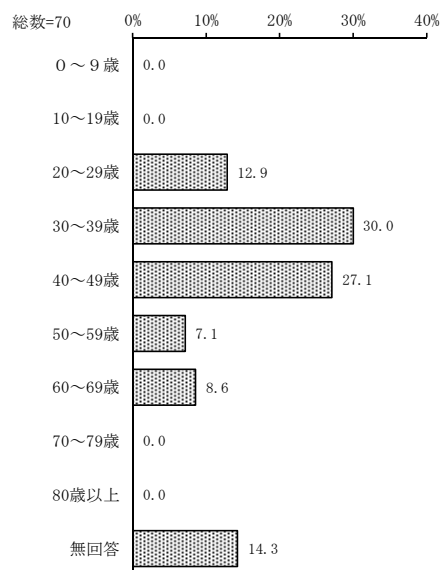
##### 【精神障害者保健福祉手帳】

等級（程度）は、「2級」が71.4%、「3級」が17.1%、「1級」が7.1%となっています。取得した年齢は、「30～39歳」が30.0%で最も多く、「40～49歳」が27.1%、「20～29歳」が12.9%で続きます。

図表 38 精神障害者保健福祉手帳の等級



図表 39 精神障害者保健福祉手帳を取得した年齢

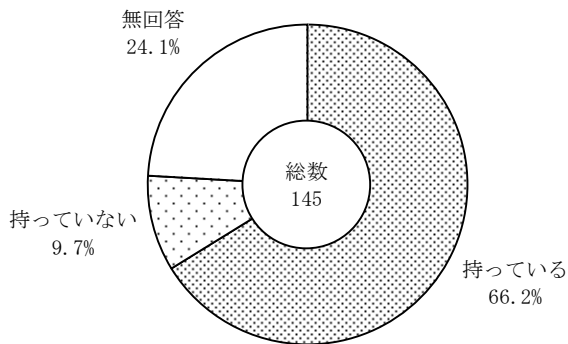


【自立支援医療（精神通院）受給者証】

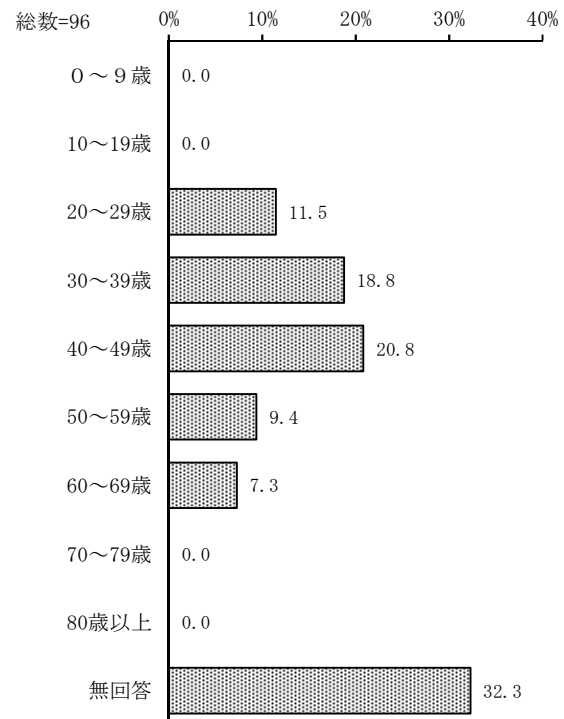
「持っている」が66.2%、「持っていない」が9.7%となっています。

取得した年齢は、「40～49歳」が20.8%、「30～39歳」が18.8%、「20～29歳」が11.5%、「50～59歳」が9.4%となっています。

図表 40  
自立支援医療（精神通院）受給者証取得の有無



図表 41  
自立支援医療（精神通院）受給者証を取得した年齢

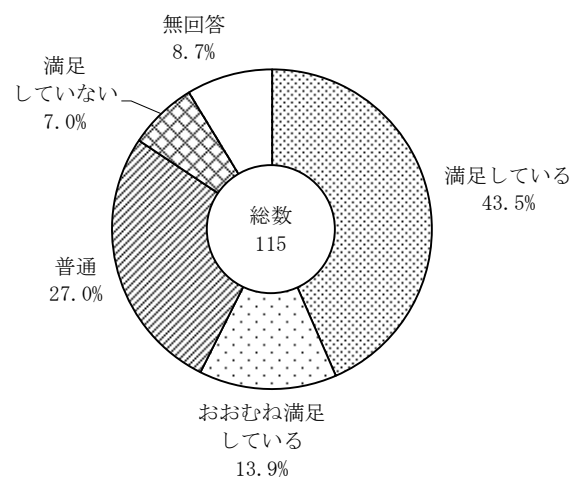


(2) 自立支援医療の満足度

【自立支援医療を利用している方に対する設問】あなたは、自立支援医療に満足していますか。（どれか1つに○）

「満足している」が43.5%、「普通」が27.0%、「おおむね満足している」が13.9%、「満足していない」が7.0%となっています。

図表 42 自立支援医療の満足度



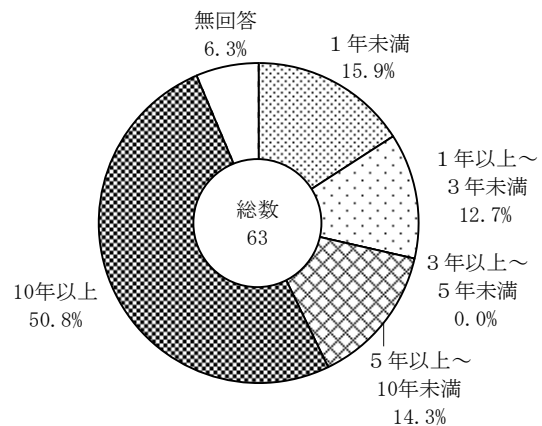
## 4 施設入所者を対象とした調査結果

### (1) 現在の施設での入所年数

あなたは、この施設・病院に入所・入院して何年になりますか。(どれか1つに○)

「10年以上」が50.8%、「1年未満」が15.9%、「5年以上～10年未満」が14.3%、「1年以上～3年未満」が12.7%となっています。

図表 43 施設・病院への入所・入院年数

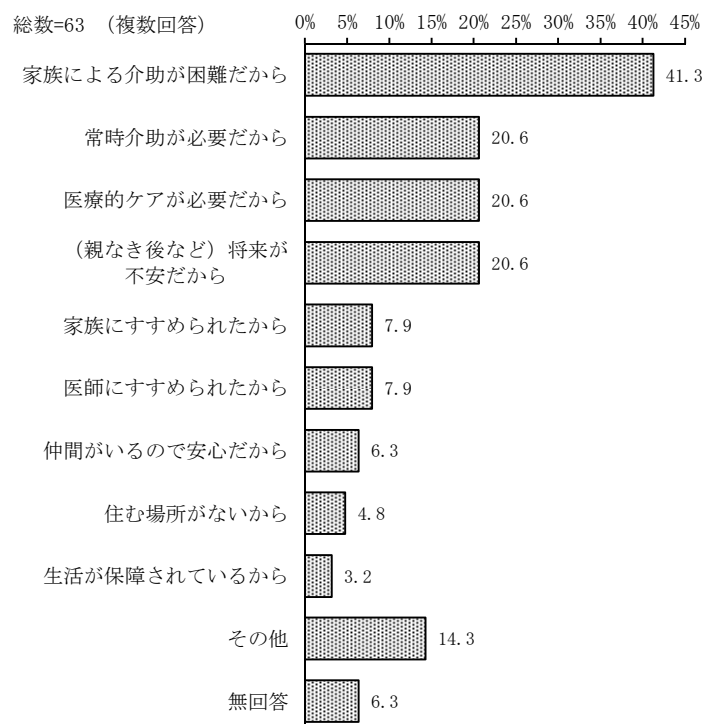


### (2) 現在の施設への入所理由

あなたが、この施設・病院に入所・入院した理由は何ですか。(主なもの3つまでに○)

「家族による介助が困難だから」が41.3%で最も多く、「常時介助が必要だから」、「医療的ケアが必要だから」、「(親なき後など) 将来が不安だから」が20.6%で続きます。

図表 44 施設・病院に入所・入院した理由



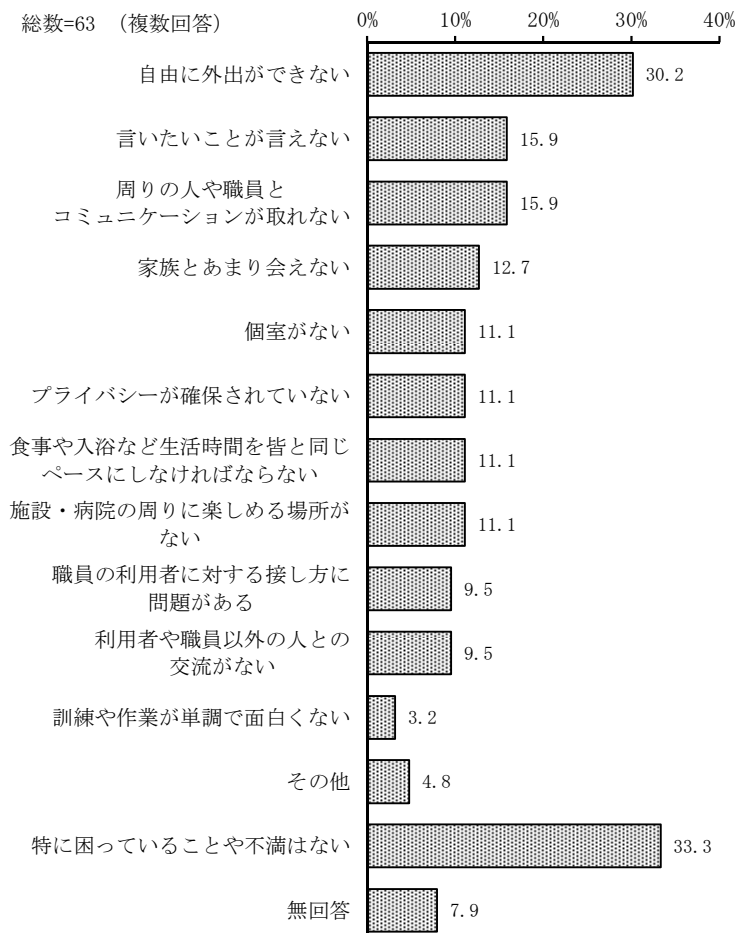


### (3) 施設での生活で困っていること

あなたが施設・病院の生活で困っていることや不満に思っていることは、何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

「自由に外出ができない」が30.2%で最も多く、「言いたいことが言えない」、「周りの人や職員とコミュニケーションが取れない」が15.9%、「家族とあまり会えない」が12.7%で続きます。

図表 45  
施設・病院の生活で困っていることや不満に思っていること

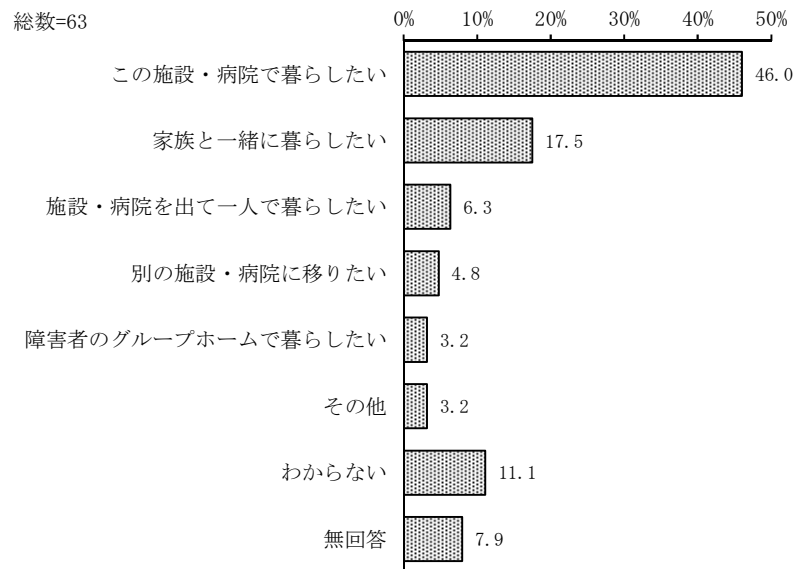


#### (4) 将来希望する暮らし方

あなたは将来、どのように暮らしたいですか。(どれか1つに○)

「この施設・病院で暮らしたい」が46.0%で最も多く、「家族と一緒に暮らしたい」が17.5%、「施設・病院を出て一人で暮らしたい」が6.3%で続きます。

図表 46 将来希望する暮らし方



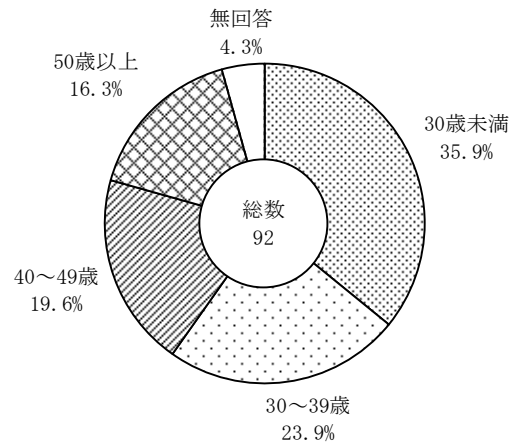
## 5 グループホーム入居者を対象とした調査結果

### (1) 現在の施設での入居理由等

あなたはグループホームに何歳の時から入居していますか。(どれか1つに○)

「30歳未満」が35.9%、「30～39歳」が23.9%、「40～49歳」が19.6%、「50歳以上」が16.3%となっています。

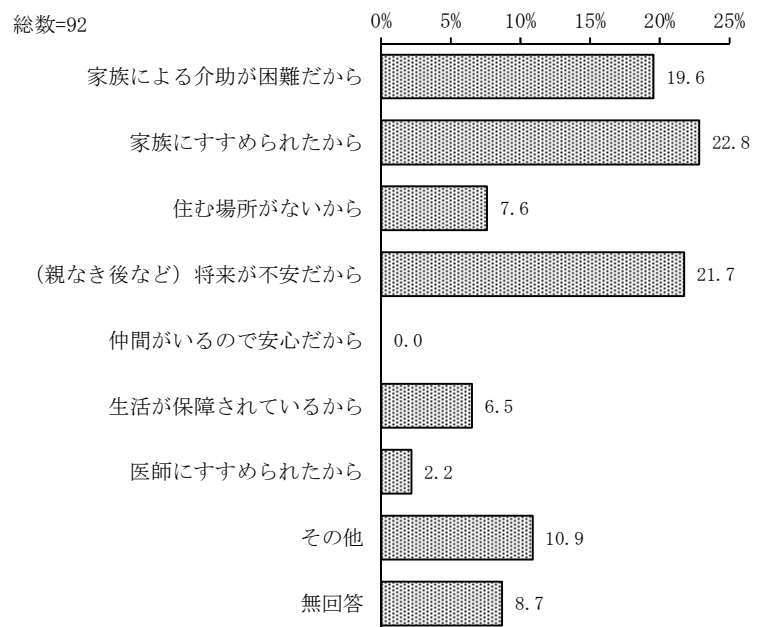
図表 47 グループホームに入居した年齢



あなたが、グループホームに入居した理由は何ですか。(どれか1つに○)

「家族にすすめられたから」が22.8%で最も多く、「(親なき後など)将来が不安だから」が21.7%、「家族による介助が困難だから」が19.6%で続きます。

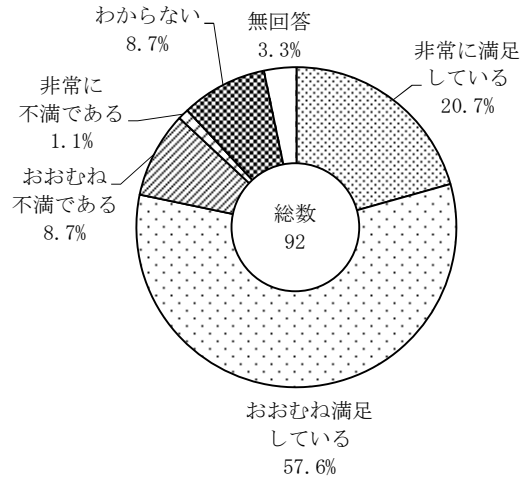
図表 48 グループホームに入居した理由



あなたは、グループホームでの生活に満足していますか。(どれか1つに○)

「おおむね満足している」が 57.6%、  
「非常に満足している」が 20.7%、「おお  
むね不満である」、「わからない」が 8.7%、  
「非常に不満である」が 1.1%となってい  
ます。

図表 49 グループホームでの生活の満足度

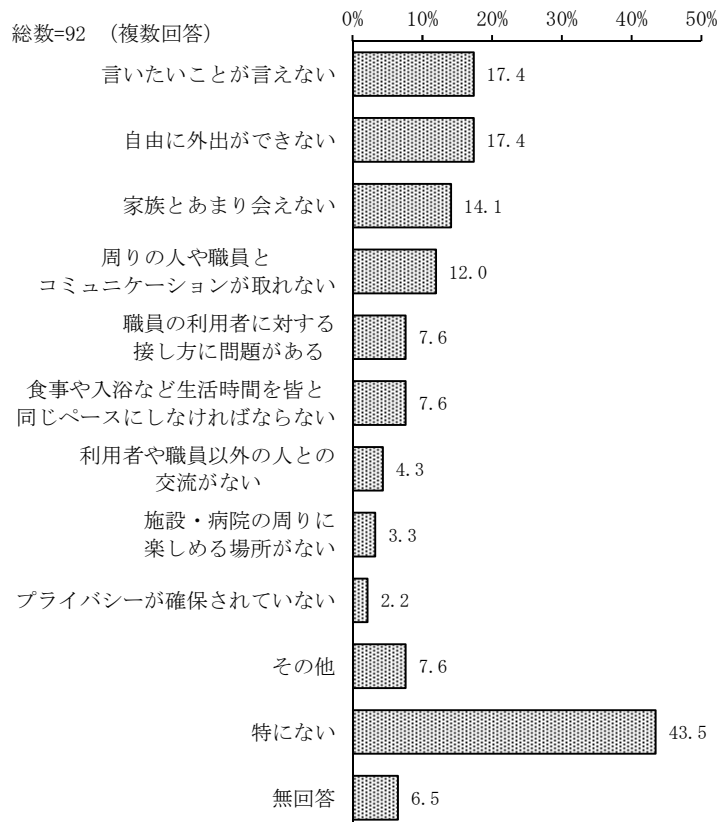


## (2) グループホームで困っていること

あなたがグループホームで困っていることや不満に思っていることは、何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

「言いたいことが言えない」、  
「自由に外出ができない」が  
17.4%で最も多く、「家族とあま  
り会えない」が 14.1%、「周りの  
人や職員とコミュニケーション  
が取れない」が 12.0%で続いま  
す。

図表 50 グループホームで困っていることや不満に思っていること

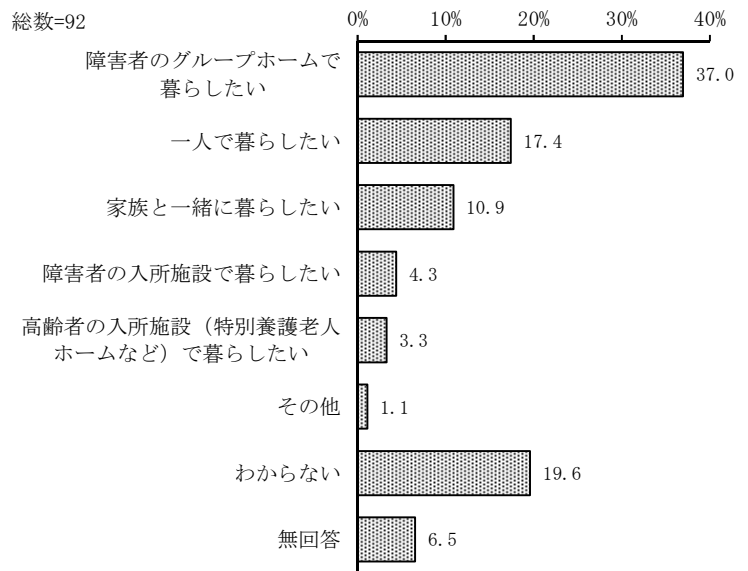


### (3) 将来希望する暮らし方

あなたは、将来どのように暮らしたいですか。(どれか1つに○)

「障害者のグループホームで暮らしたい」が37.0%で最も多く、「一人で暮らしたい」が17.4%、「家族と一緒に暮らしたい」が10.9%、で続きます。

図表 51 将来希望する暮らし方



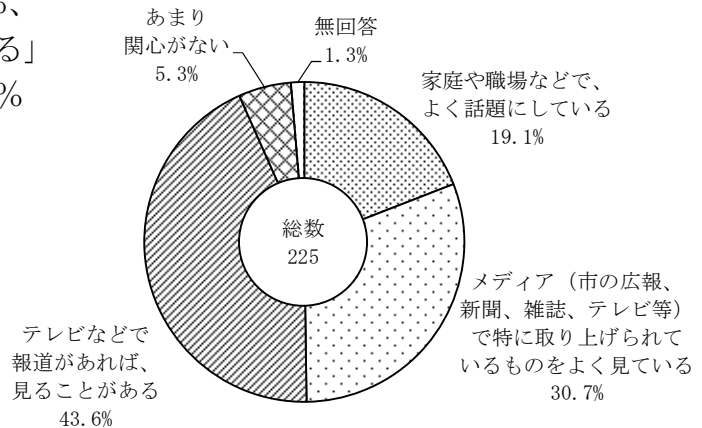
## 6 一般市民を対象とした調査結果

### (1) 障害のある人への関心の有無

あなたは、身体や心に障害のある人たち（認知症高齢者含む）に対して関心がありますか。（どれか1つに○）

「テレビなどで報道があれば、見ることもある」が43.6%、「メディア（市の広報、新聞、雑誌、テレビ等）で特に取り上げられているものをよく見ている」が30.7%、「家庭や職場などで、よく話題にしている」が19.1%、「あまり関心がない」が5.3%となっています。

図表 52  
身体や心に障害のある人たち（認知症高齢者含む）への関心の有無

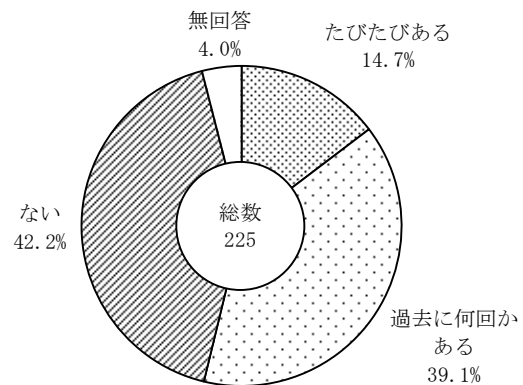


### (2) 障害のある人と一緒に活動した経験の有無

あなたは、障害のある人といっしょに活動した経験がありますか。（どれか1つに○）

「ない」が42.2%、「過去に何回かある」が39.1%、「たびたびある」が14.7%となっています。

図表 53  
障害のある人といっしょに活動した経験の有無

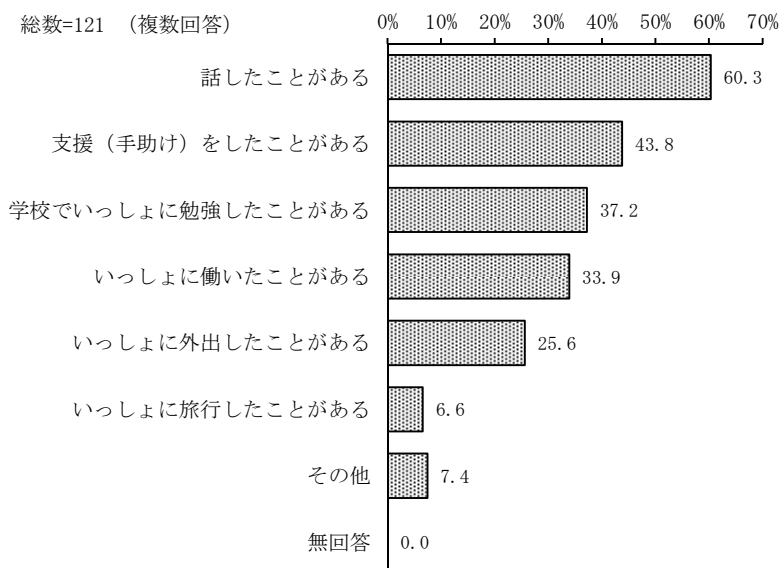


### (3) 障害のある人と一緒に活動した経験の内容

【障害のある人と一緒に活動した経験のある方に対する設問】あなたは、主にどのようなことを経験しましたか。(あてはまるものすべてに○)

「話したことがある」が60.3%で最も多く、「支援(手助け)をしたことがある」が43.8%、「学校でいっしょに勉強したことがある」が37.2%、「いっしょに働いたことがある」が33.9%で続きます。

図表 54 一緒に活動した経験の内容

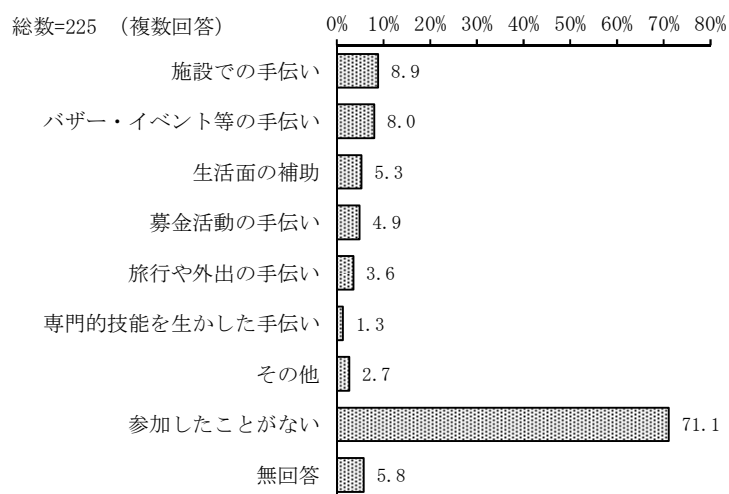


### (4) 障害のある人のためのボランティア活動への参加経験の有無

障害のある人のためのボランティア活動として、あなたが参加したことのある活動はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「施設での手伝い」が8.9%で最も多く、「バザー・イベント等の手伝い」が8.0%、「生活面の補助」が5.3%、「募金活動の手伝い」が4.9%で続きます。

図表 55 参加したことのある障害者へのボランティア活動



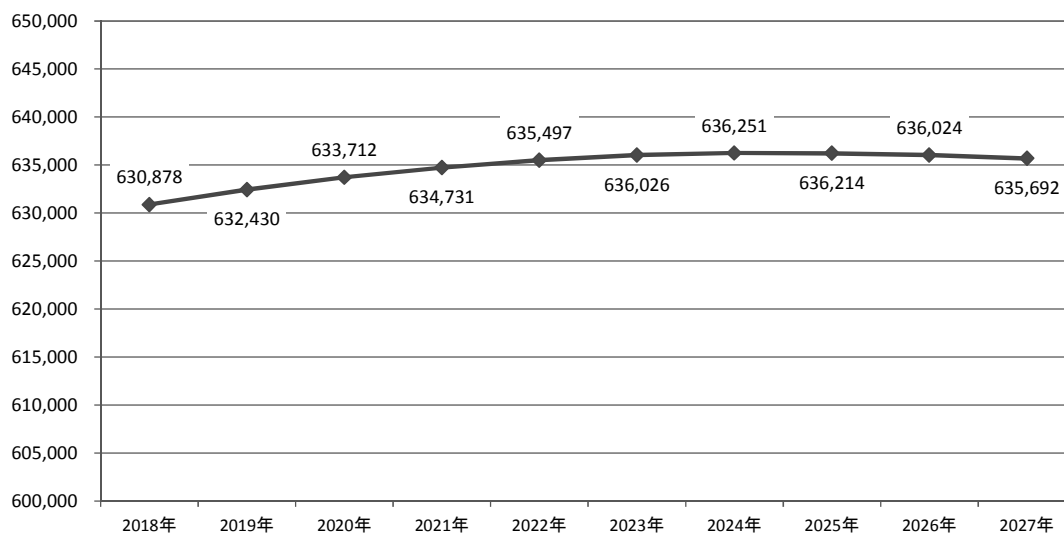
## 4 人口推計

### 1 推計の基礎データ

#### (1) 船橋市全体の人口

「船橋市人口ビジョン（平成 28 年 3 月）」による各年 4 月 1 日の船橋市全体の人口推計は以下の通りです。

図表 56 船橋市全体の人口推計  
(人)





## 2 推計結果

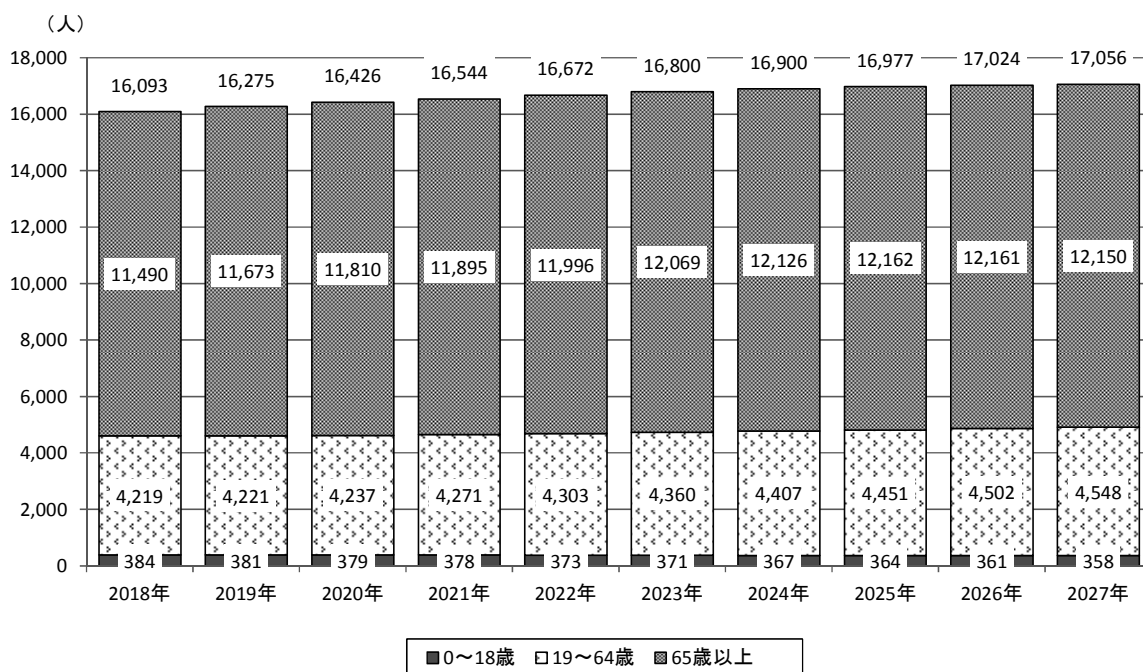
障害者の人口推計は、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、精神通院受給者証の所持者数及び増加率をもとに、船橋市全人口に占める各障害者の年齢別、障害種・等級別の人数割合により各年4月1日のそれぞれの数を推計しました。

### (1) 身体障害者手帳所持者の推計値

身体障害者手帳所持者は2018年には16,093人ですが、2027年には17,056人と推計されます。

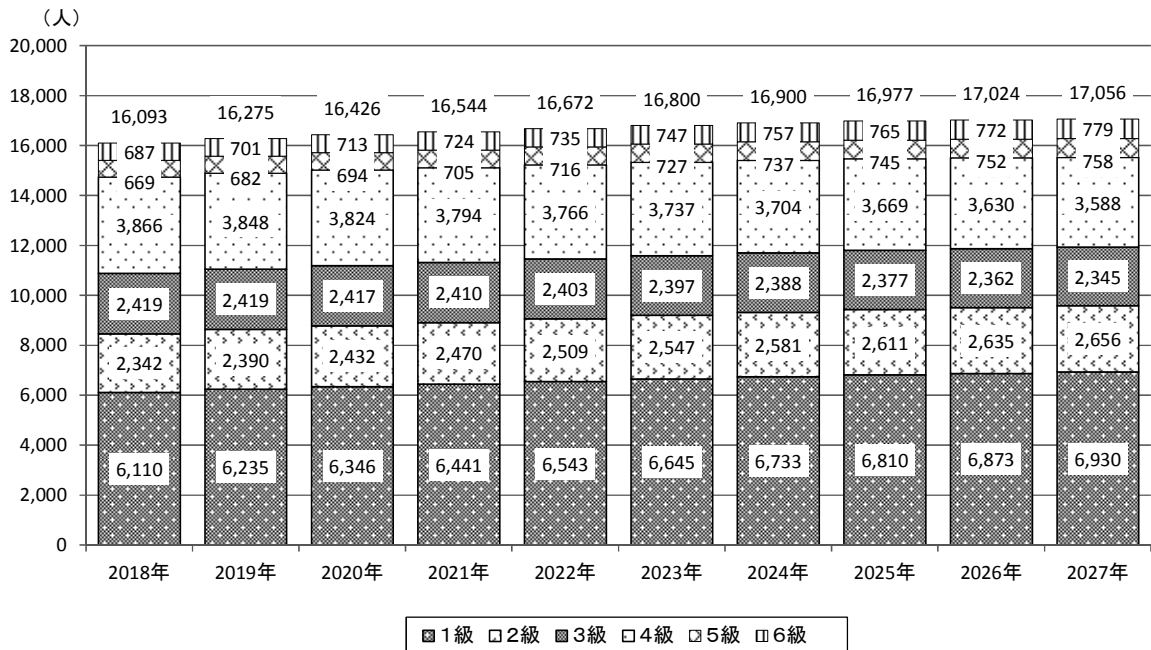
#### 【身体障害者手帳所持者数（全体）の推計】

図表 57 身体障害者手帳所持者数推計（全体）



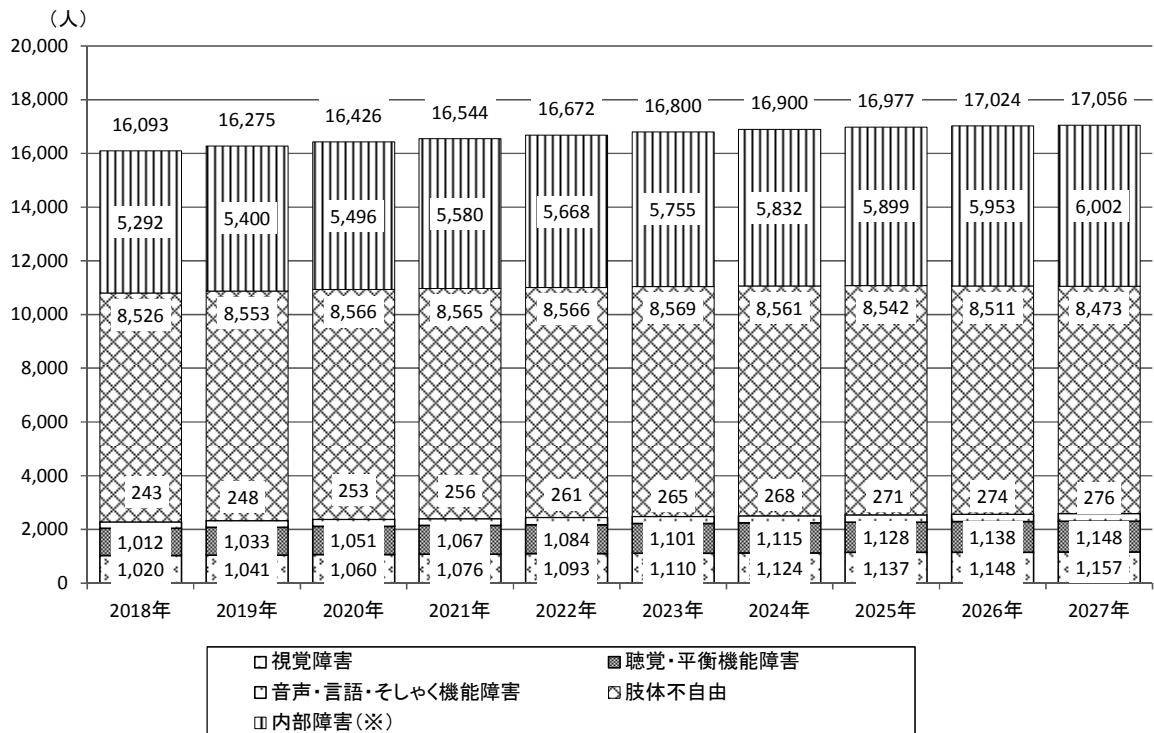
## 【身体障害者手帳所持者数（等級別）の推計】

図表 58 身体障害者手帳所持者数推計（等級別）



## 【身体障害者手帳所持者数（部位別）の推計】

図表 59 身体障害者手帳所持者数推計（部位別）



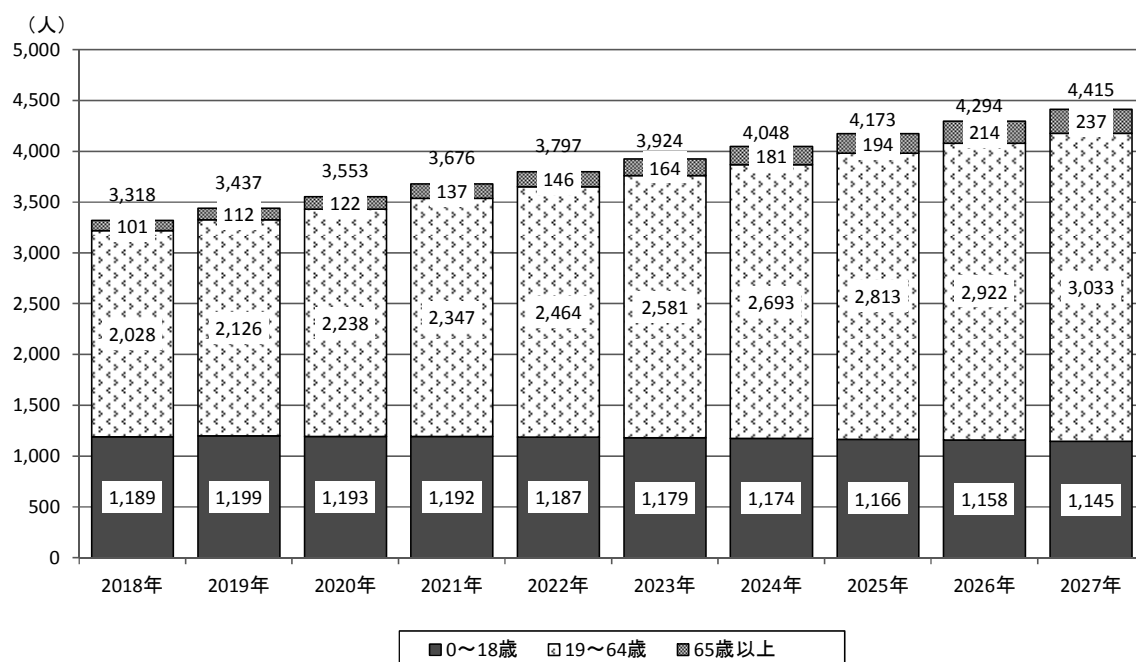
※ 「内部障害」は、心臓機能障害、じん臓機能障害、呼吸器機能障害、ぼうこう又は直腸の機能障害、小腸機能障害、免疫機能障害、肝臓機能障害の合計

## (2) 療育手帳所持者の推計値

療育手帳所持者は2018年には3,318人ですが、2027年には4,415人と推計されます。

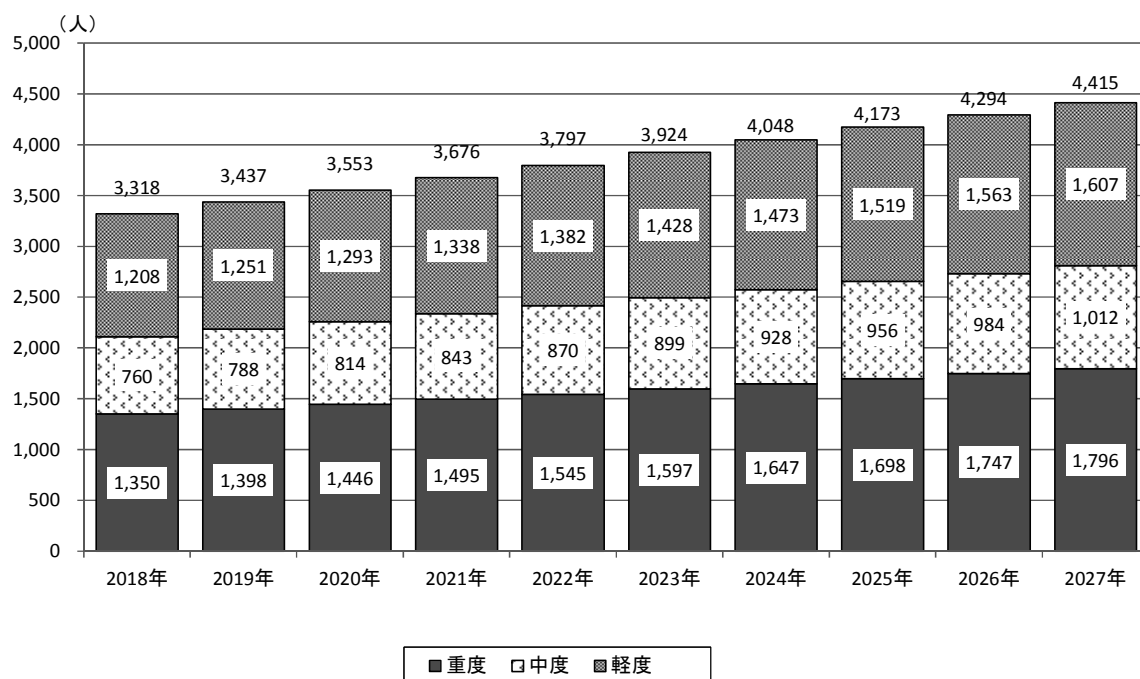
### 【療育手帳所持者数（全体）の推計】

図表 60 療育手帳所持者数推計（全体）



### 【療育手帳所持者数（程度別）の推計】

図表 61 療育手帳所持者数推計（程度別）

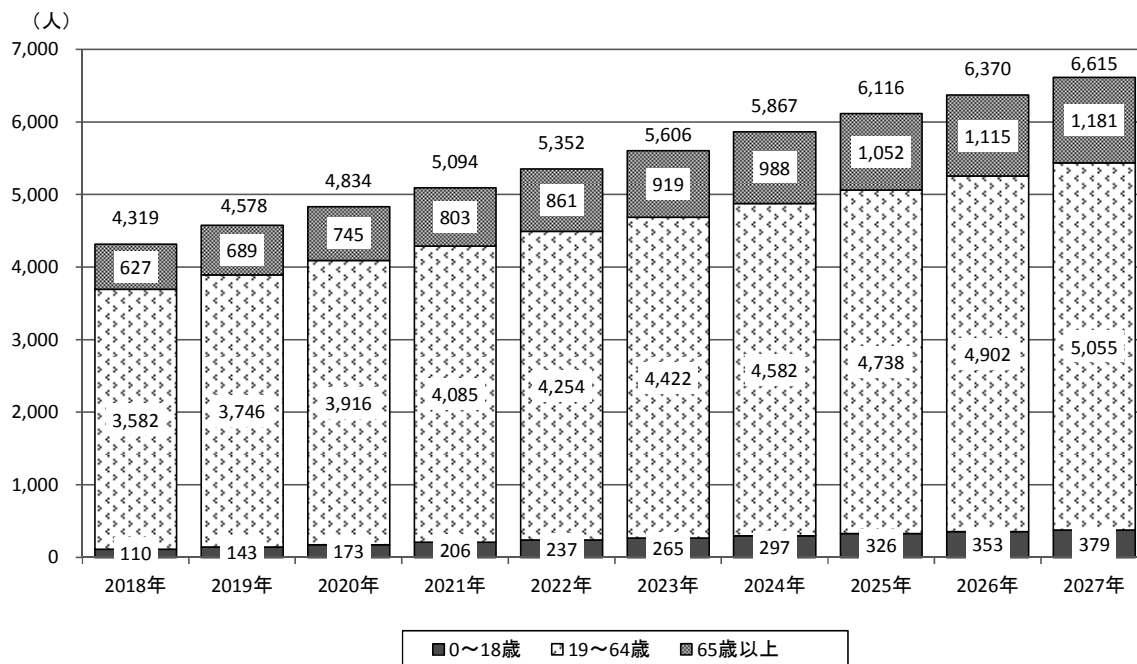


### (3) 精神障害者保健福祉手帳所持者の推計値

精神障害者保健福祉手帳所持者は 2018 年には 4,319 人ですが、2027 年には 6,615 人と推計されます。

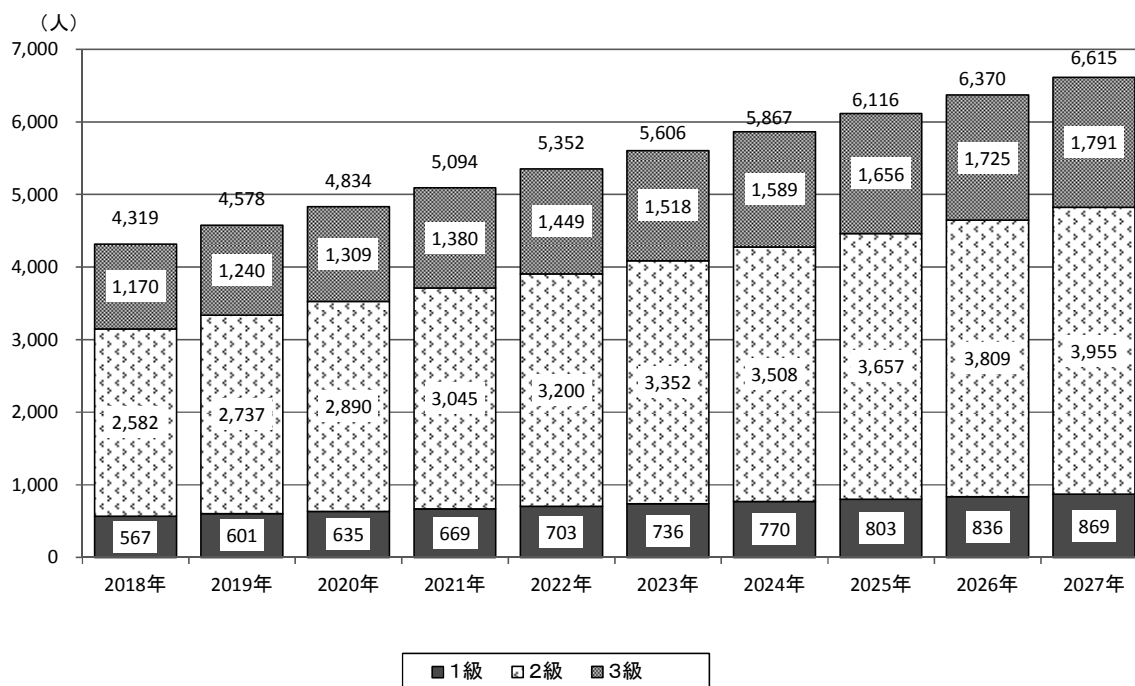
#### 【精神障害者保健福祉手帳所持者数（全体）の推計】

図表 62 精神障害者保健福祉手帳所持者数推計（全体）



#### 【精神障害者保健福祉手帳所持者数（等級別）の推計】

図表 63 精神障害者保健福祉手帳所持者数推計（等級別）

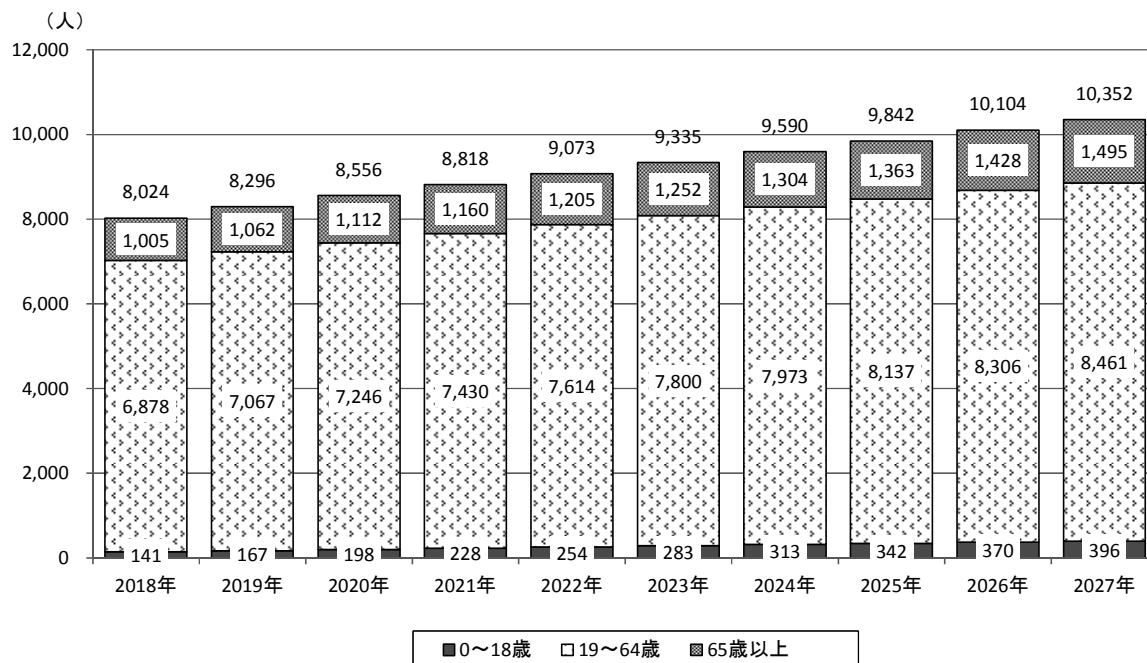


#### (4) 精神通院受給者証所持者の推計値

精神通院受給者証所持者は2018年には8,024人ですが、2027年には10,352人と推計されます。

#### 【精神通院受給者証所持者数（全体）の推計】

図表 64 精神通院受給者証所持者数推計（全体）





船橋市障害福祉施策に関する意識調査報告書  
概要版

平成 30 年 1 月発行

船橋市健康福祉局福祉サービス部障害福祉課  
〒273-8501 千葉県船橋市湊町 2-10-25  
電話：047-436-2307 F A X：047-433-5566